

令和元年度 モニタリング評価結果案 一覧

施設グループ	ページ
<b>コミュニティ系施設</b>	
コミュニティセンター	1、2
勤労市民プラザ	3
公民館 ※図書館なし	4～6
公民館 ※図書館あり	7、8
いきいきプラザ	9、10
いきいきセンター	11、12
その他	13
<b>文化系施設</b>	
ホール	14
博物館	15
<b>図書館</b>	16、17
<b>公園・レクリエーション施設</b>	
有料公園施設（貸室）	18、19
屋外集客系施設	20
屋内集客系施設	21
宿泊系施設	22

施設グループ	ページ
<b>その他</b>	
男女共同参画センター 他	23
<b>福祉系施設</b>	
青少年サポートセンター	24
その他（子育て）	25
子育てリラックス館	26、27
<b>産業・農業系施設</b>	
都市農業交流センター	28
その他（産業・農業）	29
自立・就労サポートセンター	30
ふるさとハローワーク	31
<b>行政施設</b>	
区役所	32
保健福祉センター	33
市民センター	34、35
連絡所	36
事務所等	37

施設グループ	ページ
<b>行政施設</b>	
消防施設 消防署	38
消防施設 出張所	39、40
環境事業所	41
公園緑地事務所	42
土木事務所	43
出先機関等 その他	44
<b>福祉系施設</b>	
高齢・障害等	45、46
生活自立・仕事相談センター	47
<b>医療系施設</b>	48
<b>学校（小中学校除く）</b>	49
<b>教育施設（その他）</b>	50
<b>その他（千葉市斎場 他）</b>	51
<b>スポーツ施設</b>	52～56

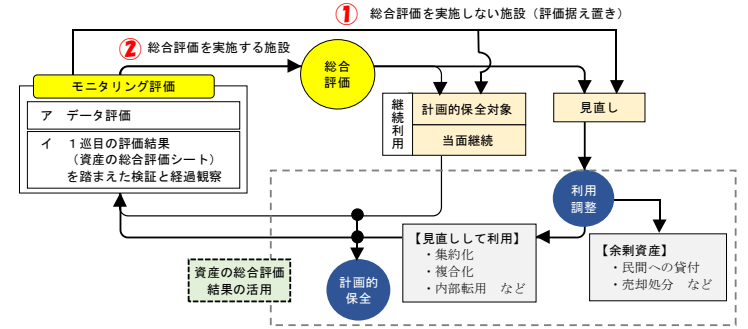
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
1	中央コミュニティセンター松波分室	25	25-2	△	39.0	3	△	44,982	1	△	継続利用	当面継続	耐用32年超過	50.5	%	4	43,389	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する	
2	蘇我コミュニティセンター			△	40.0	4		24,366	3			<個別に取組みあり> 移転予定(H28年度移転)		61.8	%	5	14,845	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)	
3	畑コミュニティセンター	25	25-3		21.0	1	△	22,649	3		継続利用	当面継続		24.5	%	1	△	21,873	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> H30年度と同様、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする※1
4	幕張コミュニティセンター	25	25-4		28.0	2	△	17,570	4		継続利用	当面継続		46.5	%	3		14,959	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
5	花島コミュニティセンター	25	25-5		29.0	2	△	16,851	4		継続利用	当面継続		31.4	%	2	△	13,581	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
6	穴川コミュニティセンター	25			50.0	5		18,978	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		58.5	%	4		13,467	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
7	長沼コミュニティセンター	25	25-6		29.0	2	△	21,427	3		継続利用	当面継続		37.7	%	2	△	17,768	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
8	都賀コミュニティセンター	25	25-7		38.0	3	△	21,628	3		継続利用	計画的保全		35.7	%	2	△	19,430	円/㎡	3		①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 H29年度に大規模改修工事を実施したが、利用度が減少傾向である引き続き、利用度に課題ありとなったため、経過観察とする
9	千城台コミュニティセンター	25	25-8		34.0	3	△	28,324	2	△	継続利用	当面継続		39.7	%	3	△	29,474	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
10	鎌取コミュニティセンター	25	25-9		42.0	4		28,463	2	△	継続利用	計画的保全		55.6	%	4		28,378	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
11	土気あずみが丘プラザ	25	25-10		34.0	3	△	17,106	4		継続利用	計画的保全		43.9	%	3		14,342	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
12	高洲コミュニティセンター	25			42.0	4		17,855	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		52.7	%	4		19,982	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

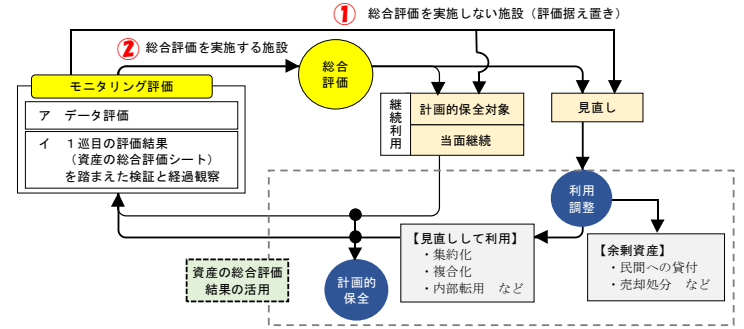
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性									
13	真砂コミュニティセンター			△	47.0	4	24,002	3		<個別に取組みあり> 移転決定済			38.8	%	2	△	15,418	円/㎡	4	①	□	継続利用	計画的保全	-	R元年度に資産の総合評価実施 ・以下2点により経過観察とする。 (1) データ評価課題なしであったが、R元年度データ評価から状況変化(利用度に課題あり)があるため (2) 1巡目から状況に変化(H28年度移転)があるため

グループ名	コミュニティ系施設（コミュニティセンター）
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【コミュニティセンター（畑、幕張、花島、長沼、千城台、鎌取）】 ・平成30年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿寿命計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【コミュニティセンター（都賀、真砂）】 ・資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。 ※都賀コミュニティセンターは経過観察2期目</p> <p>【コミュニティセンター（松波分室）】 ・建物の残耐用年数が5年以下のため、総合評価を実施し、評価替を検討する。</p>

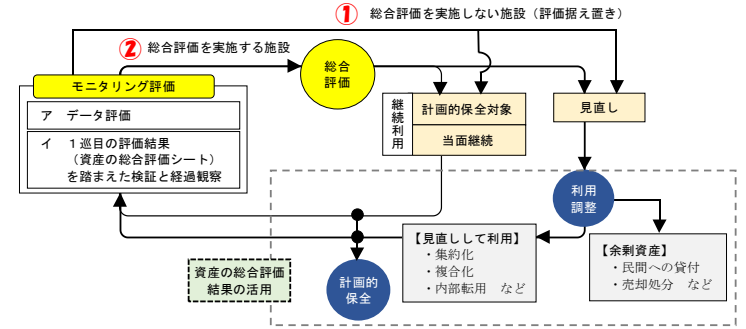
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	長沼原勤労市民プラザ	25	25-11		43.0	2	△	21,061	3		継続利用	当面継続		53.6	%	-	-	12,892	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	幕張勤労市民プラザ	25	25-12		53.0	4		24,342	2	△	継続利用	計画的保全		56.6	%	-	-	11,145	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	コミュニティ系施設 (勤労市民プラザ)
-------	---------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率 (3 カ年平均値) が 5 段階評価で 2 以下
	イ 稼働率 (3 カ年平均値) が 40% 未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト (3 カ年平均値) が 5 段階評価で 2 以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価 1 巡目では 3 施設 (長沼原、幕張、蘇我) による相対評価を実施。ただし、資産の総合評価 2 巡目では 2 施設 (長沼原、幕張) であることから、相対評価を実施せず、個別に対応を検討する。(データは参考値として記載)</li> <li>状況変化がないものと判断し、H30 年度と同様、評価据置きとする</li> </ul>

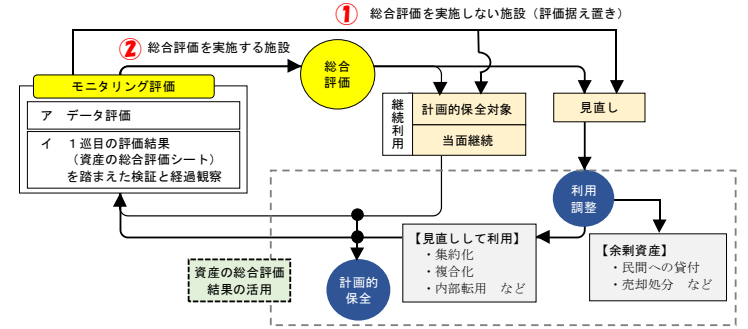
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用率		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率		運営コスト		ルート	評価結果	方向性	※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
1	横橋公民館	25	25-20	△	26.5	2	△	33,758	3		見直し	複合化		18.5	%	1	△	22,318	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続	30-1	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 賃貸借契約期間中（～R9.8）は現用途のまま継続して使用する
2	轟公民館	25			59.1	5		21,831	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		62.9	%	5		28,661	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	小中台公民館	25	25-26		51.9	4		37,760	2	△	継続利用	計画的保全		51.0	%	4		33,987	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
4	椎名公民館	25	25-40	△	22.6	1	△	39,538	2	△	継続利用	当面継続		23.6	%	2	△	54,805	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> H30年度と同様、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする※1
5	土気公民館	25			41.6	3		31,342	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		48.7	%	4		46,462	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
6	宮崎公民館	25	25-14		31.8	2	△	16,273	5		継続利用	当面継続		46.4	%	4		18,874	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
7	葛城公民館	25	25-15	△	29.1	2	△	40,885	2	△	継続利用	当面継続	残耐3年	21.6	%	1	△	71,056	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する
8	千城台公民館	25	25-33	△	43.7	4		34,751	3		継続利用	当面継続	残耐4年	40.4	%	3		31,880	円/㎡	3		②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する
9	末広公民館	25	25-16	△	37.1	3	△	40,323	2	△	継続利用	当面継続	残耐4年	31.1	%	2	△	75,281	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する
10	椿森公民館	25	25-17	△	27.7	2	△	42,391	2	△	継続利用	当面継続	残耐5年	27.0	%	2	△	66,535	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する

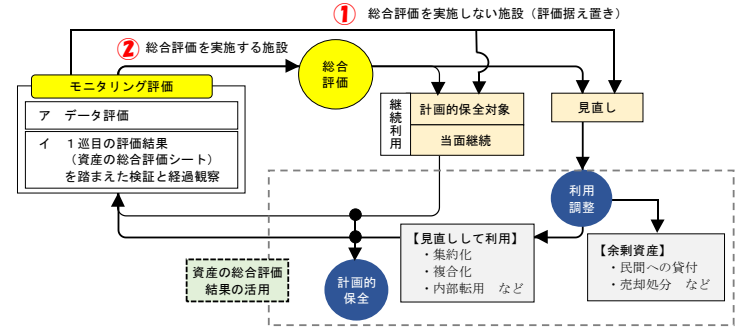
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
評価	判定	評価	判定		評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価結果	方向性												
11	川戸公民館	25	25-18	△	32.5	2	△	43,119	2	△	継続利用	当面継続	残耐5年	30.3	%	2	△	64,387	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続		<評価替検討 (総合評価実施) > 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する
12	花見川公民館	25	25-21	△	30.0	2	△	30,317	3		継続利用	当面継続		28.1	%	2	△	34,926	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
13	加曽利公民館	25	25-36	△	28.2	2	△	43,770	2	△	継続利用	当面継続		34.1	%	2	△	53,980	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
14	星久喜公民館	25	25-19	△	29.8	2	△	39,289	2	△	継続利用	当面継続		22.7	%	2	△	43,100	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
15	こてはし台公民館	25	25-23		32.8	2	△	34,629	3		継続利用	当面継続		36.3	%	3	△	38,948	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
16	高浜公民館	25			43.5	4		28,418	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		42.1	%	3		40,551	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
17	黒砂公民館	25			49.3	4		24,255	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		46.3	%	4		24,508	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
18	稲浜公民館	25			46.0	4		32,675	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		43.1	%	3		58,075	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
19	稲毛公民館	25	25-27		36.3	3	△	31,918	3		継続利用	当面継続		43.3	%	3		57,101	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
20	松ヶ丘公民館	25	25-13		38.8	3	△	35,567	2	△	継続利用	当面継続		54.1	%	4		42,095	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き

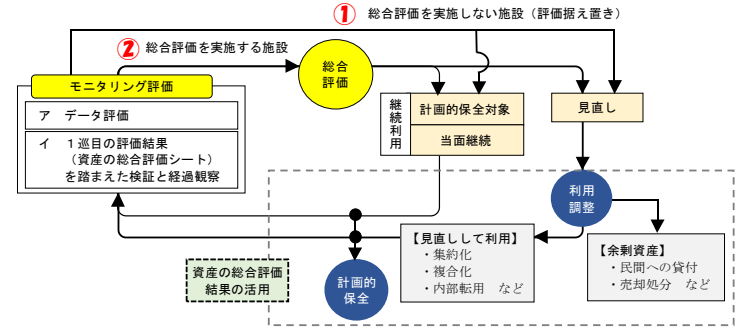
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1 巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1 巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1 巡目）										資産の総合評価（2 巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
21	花園公民館	25		50.0	4		20,695	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		50.6	%	4		21,259	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
22	幕張本郷公民館	25		50.9	4		30,147	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		53.1	%	4		33,090	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
23	おゆみ野公民館	25		40.1	3		16,376	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		51.9	%	4		18,351	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
24	新宿公民館	25		57.1	5		15,848	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		52.7	%	4		16,950	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
25	打瀬公民館	25		42.6	3		19,903	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		49.5	%	4		24,189	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
26	白井公民館	25	25-35	30.3	2	△	25,859	4		継続利用	当面継続		35.3	%	3	△	27,757	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き

グループ名	コミュニティ系施設（公民館） ※図書館なし
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率（3 カ年平均値）が 5 段階評価で 2 以下
	イ 稼働率（3 カ年平均値）が 4 0 % 未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3 カ年平均値）が 5 段階評価で 2 以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の設置有無に伴い、運営コストに差が生じたため、図書館の有無によりグループを設定し、相対評価を実施している。</li> <li>・利用度（稼働率）は調理室を含む。</li> </ul> <p>【公民館（椎名、土気、宮崎、花見川、加曾利、星久喜、こてはし台、稲浜、稲毛、松ヶ丘、白井）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【公民館（檜橋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【公民館（葛城、千城台、末広、椿森、川戸）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の残耐用年数が5 年以下のため、総合評価を実施し、評価替を検討する。</li> </ul>

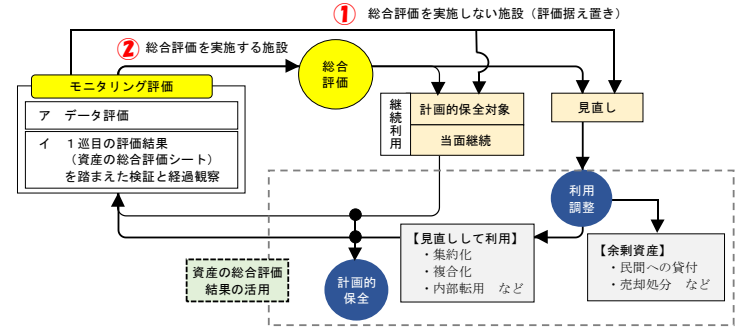
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用率	判定	運用コスト	判定	評価結果	方向性	建物性能	利用率	判定	運用コスト	判定	ルート	評価結果	方向性	※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
1	大宮公民館	25	25-37	△	38.4	3	△	60,172	2	△	継続利用	当面継続		33.5	%	2	△	56,668	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
2	千草台公民館	25	25-28		31.6	2	△	56,703	2	△	継続利用	当面継続		37.7	%	3	△	57,035	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
3	さつきが丘公民館	25	25-22		33.4	3	△	59,242	2	△	継続利用	当面継続		33.2	%	2	△	78,161	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
4	更科公民館	25	25-34		10.9	1	△	61,740	2	△	継続利用	当面継続		10.5	%	1	△	70,019	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
5	草野公民館	25	25-29		26.9	2	△	53,640	3		継続利用	当面継続		33.8	%	2	△	83,533	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
6	幕張西公民館	25	25-43		35.2	3	△	53,986	3		継続利用	当面継続		32.4	%	2	△	53,172	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
7	長作公民館	25	25-24		26.1	2	△	60,855	2	△	継続利用	当面継続		29.2	%	2	△	54,871	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
8	検見川公民館	25			40.5	3		53,494	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		40.0	%	3		49,811	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
9	みつわ台公民館	25	25-38		39.9	3	△	52,727	3		継続利用	当面継続		44.6	%	4		49,301	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
10	若松公民館	25	25-39		51.0	4		58,764	2	△	継続利用	計画的保全		51.8	%	4		59,334	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
11	山王公民館	25	25-30		28.3	2	△	53,636	3		継続利用	当面継続		35.1	%	3	△	60,360	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
12	磯辺公民館	25	25-44		31.0	2	△	53,874	3		継続利用	当面継続		33.4	%	2	△	50,566	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
13	都賀公民館	25	25-31		34.6	3	△	50,318	3		継続利用	当面継続		32.7	%	2	△	51,714	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
14	緑が丘公民館	25	25-32		34.6	3	△	55,717	2	△	継続利用	当面継続		38.5	%	3	△	51,857	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
15	朝日ヶ丘公民館	25	25-25		38.6	3	△	52,261	3		継続利用	当面継続		36.3	%	3	△	62,549	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き



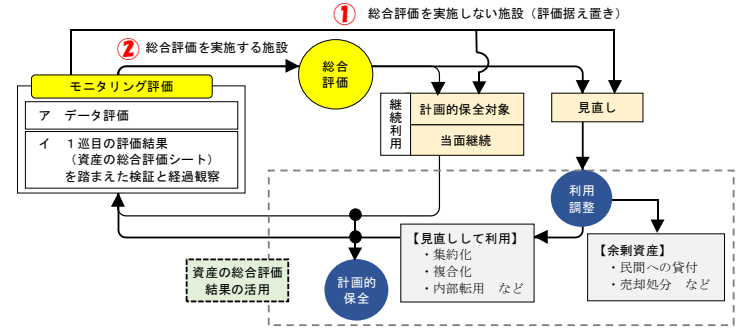
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価											
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要				
				建物性能	利用率	判定		評価	方向性	建物性能	利用率	判定		評価	方向性	ルート	評価結果			方向性			
16	幸町公民館	25	25-45	35.7	3	△	32,617	5	継続利用	当面継続	32.2	%	2	△	41,919	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
17	越智公民館	25	25-41	35.3	3	△	47,634	3	継続利用	当面継続	36.1	%	3	△	56,758	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
18	生浜公民館	25		40.8	3		40,538	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	39.4	%	3	△	36,955	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
19	幕張公民館	25		46.0	4		41,587	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	48.2	%	4		32,012	円/㎡	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
20	桜木公民館	25		47.6	4		49,152	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	39.7	%	3	△	32,997	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		<個別事情により評価据置き> ※1. H30年度と同様、評価据置き
21	菅田公民館	25		45.4	4		31,200	5	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	56.3	%	5		25,594	円/㎡	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	コミュニティ系施設（公民館） ※図書館あり
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用率	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の設置有無に伴い、運営コストに差が生じたため、図書館の有無によりグループを設定し、相対評価を実施している。</li> <li>・利用率（稼働率）は調理室を含む。</li> </ul> <p>【公民館（大宮、千草台、さつきが丘、更科、草野、幕張西、長作、みつわ台、山王、磯辺、都賀、緑が丘、朝日ヶ丘、幸町、越智、生浜、桜木）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度モニタリング評価と同様に、学校の長寿命化計画との関連を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

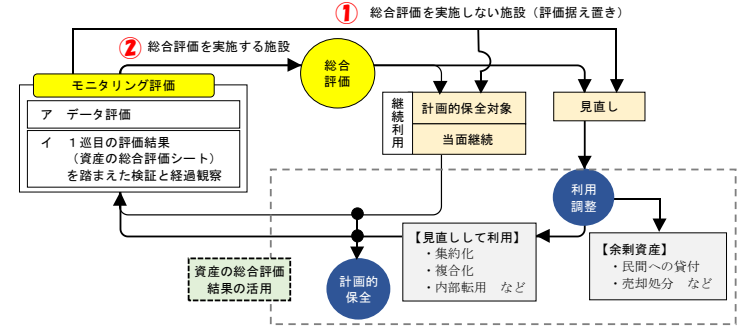
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	中央いきいきプラザ	25	25-46		56.9	3	83,552	2	△	継続利用	当面継続		35.0	人/㎡	2	△	48,483	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-1	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、機能が類似している周辺施設の利用状況や残耐用年数 (利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安) に留意しながら必要規模等を精査していく必要がある	
2	花見川いきいきプラザ	25			67.7	5	64,936	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		38.2	人/㎡	2	△	42,426	円/㎡	4	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 利用度課題あり (2期連続)	
3	稲毛いきいきプラザ	25			61.9	4	51,451	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		49.7	人/㎡	3		51,176	円/㎡	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト課題あり (1期目)
4	若葉いきいきプラザ	25	25-47		48.6	2	39,511	4		継続利用	当面継続		44.5	人/㎡	3		43,513	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	1-2	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 清掃工場停止に伴い、現在は浴室をボイラーにより対応しており、運営コストの増加懸念があることから当面は動向を注視する	
5	緑いきいきプラザ	25	25-48		43.7	2	54,327	3		継続利用	当面継続		43.7	人/㎡	3		58,564	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続	1-3	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用状況や残耐用年数 (利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安) に留意しながら、必要規模・内容を精査していく必要がある

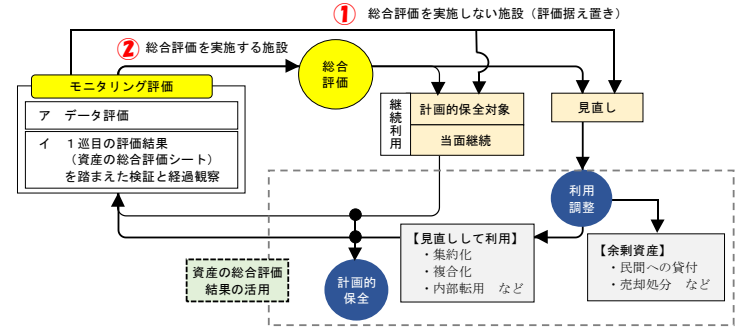
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価											
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要			
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性					
6	美浜いきいきプラザ	25	25-49	51.4	3	76,188	2	△	継続利用	当面継続	69.9	人/㎡	5	44,810	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	1-4	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用状況や残耐用年数（利用が継続されるようであれば、残耐用年数5年が目安）に留意しながら、必要規模・内容を精査していく必要がある	

グループ名	コミュニティ系施設（いきいきプラザ）
-------	--------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【いきいきプラザ（中央、若葉、緑、美浜）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【いきいきプラザ（花見川、稲毛）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。</li> <li>※花見川いきいきプラザは経過観察2期目</li> </ul>

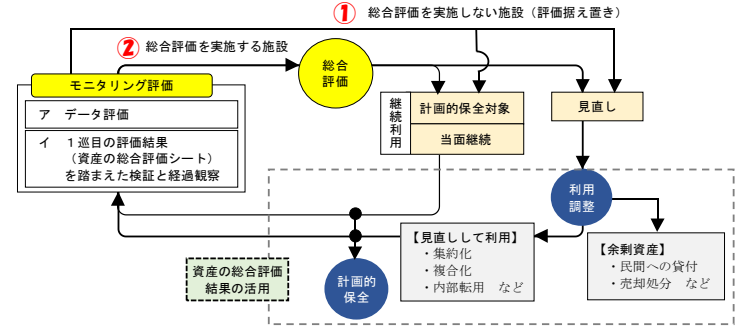
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性								
1	蘇我いきいきセンター	25	25-50	△	37.0	2	△	117,610	2	△	継続利用	当面継続	146.7	人/㎡	5	122,907	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-5	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	
2	花見川いきいきセンター	25			91.6	5		61,809	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	93.3	人/㎡	3	59,742	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
3	さつきが丘いきいきセンター	25	25-51		60.9	4		120,556	2	△	継続利用	当面継続	94.7	人/㎡	3	100,417	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-6	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	
4	あやめ台いきいきセンター	25	25-52	△	53.7	3		90,726	3		継続利用	当面継続	76.9	人/㎡	3	94,826	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-7	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年以下であり、必要規模等を精査していく必要がある	
5	大宮いきいきセンター	25	25-53	△	50.6	3		96,716	3		継続利用	当面継続	61.3	人/㎡	2	△	85,272	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-8	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある
6	都賀いきいきセンター	25			46.1	3		46,803	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	37.0	人/㎡	1	△	38,199	円/㎡	5		①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 利用度課題あり (2期連続)
7	越智いきいきセンター	25	25-54		41.0	2	△	123,047	2	△	継続利用	当面継続	70.3	人/㎡	3	126,658	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-9	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある	

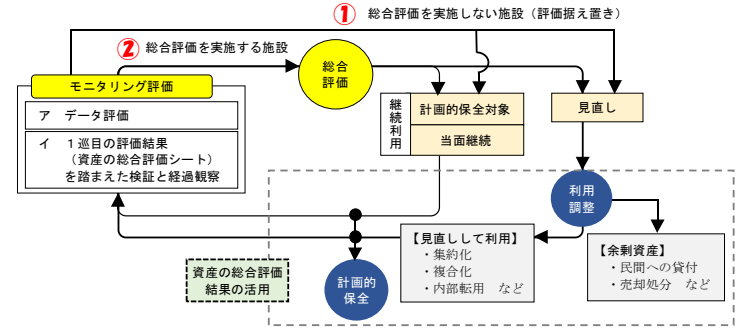
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性							
8	土気いきいきセンター	25	25-55	△	20.5	1	△	67,083	4		継続利用	当面継続		58.9	人/㎡	2	△	62,926	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続	1-10	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年以下であり、必要規模等を精査していく必要がある
9	真砂いきいきセンター	25	25-56		55.3	3		124,232	2	△	継続利用	当面継続		102.4	人/㎡	4		105,892	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-11	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、残耐用年数5年を目安に、必要規模等を精査していく必要がある

グループ名	コミュニティ系施設（いきいきセンター）
-------	---------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【いきいきセンター（蘇我、さつきが丘、あやめ台、大宮、越智、土気、真砂）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【いきいきセンター（都賀）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。</li> <li>※都賀いきいきセンターは経過観察2期目</li> </ul>

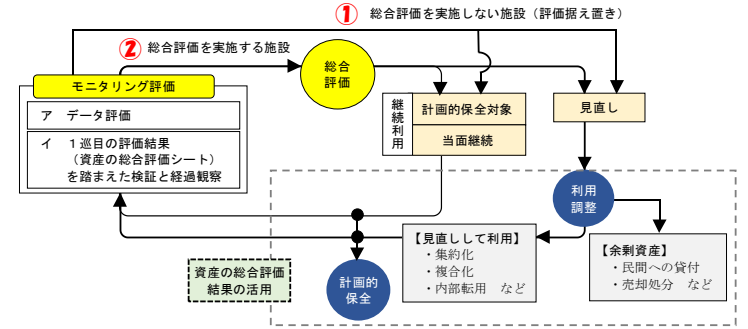
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性										
1	おゆみ野ふれあい館	25	25-57		13.0	△	18,503	-	-	継続利用	当面継続			25.3	人/㎡	4	13,982	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 建物の残耐用年数がなくなるまで利用継続する方針（耐用年数経過後の動向について検討する必要がある）
2	幸老人センター	25	25-58	△	21.8	△	3,663	-	-	見直し	貸付・売却等			9.2	人/㎡	2	3,301	円/㎡	4		①	○	見直し	貸付・売却等		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
3	小中台地域福祉交流館	25	25-59		6.2		9,704	-	-	継続利用	当面継続			29.7	人/㎡	4	15,062	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-12	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 残耐用年数（5年を目安）は利用を継続するものの、運営コスト削減を検討する必要がある
4	犢橋地域福祉交流館	25	25-60		-	-	-	-	-	継続利用	当面継続			10.4	人/㎡	2	6,797	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続	1-13	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は利用を継続するものの、利用度改善を検討する必要がある
5	生涯学習センター	25	25-61		41.0		58,598		△	継続利用	計画的保全			61.9	%	-	60,469	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
6	南部青少年センター	25	25-62	△	37.0	△	23,653		△	継続利用	当面継続			48.4	%	-	19,125	円/㎡	-	-	①	○	見直し	周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方の検討	1-14	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方を検討していく方針

グループ名	コミュニティ系施設（その他）
-------	----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループに属さない4施設（おゆみ野ふれあい館、幸老人センター、小中台・犢橋地域福祉交流館）で相対評価を実施。残り2施設（生涯学習センター、南部青少年センター）は利用度の単位が異なることから、相対評価を行わなかった。（利用度について、2施設は稼働率を記載）</li> </ul> <p>【地域福祉交流館（小中台、犢橋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

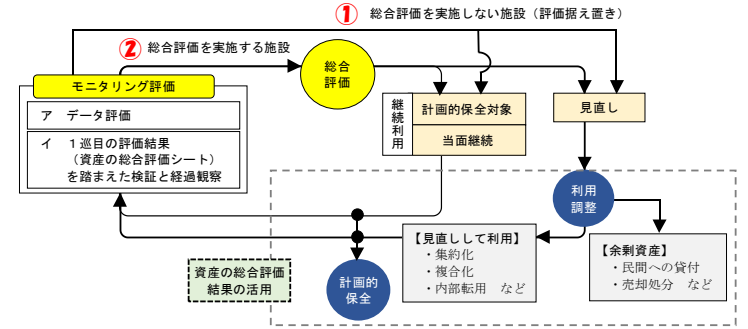
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用率	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運営コスト		ルート	評価結果	方向性										
1	千葉市民会館	25	25-63	△	63.3	5	40,002	4	継続利用	当面継続		65.5	%	4	25,374	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	1-15	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 建物性能に課題があるものの、空調設備等改修工事実施しており、当面は利用を継続する			
2	文化センター	25	25-64		54.3	4	77,444	1	△	継続利用	当面継続		56.1	%	3	36,888	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-16	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 運営コストに実質的な課題はなく、残耐用年数や指定管理期間を考慮しながら、必要規模等を精査する必要があるものの、当面は利用を継続する	
3	若葉文化ホール	25	25-66		40.7	2	△	61,797	2	△	継続利用	当面継続		45.9	%	2	△	30,477	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	1-17	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 利用率の改善に向けた取組みを実施中 残耐用年数や指定管理期間を考慮しながら、必要規模等を精査する必要があるものの、当面は利用を継続する
4	美浜文化ホール	25			46.3	3	38,875	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		57.5	%	3	33,947	円/㎡	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト課題あり（2期連続）	

グループ名	文化系施設（ホール）
-------	------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用率	ア 稼働率（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
	イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【美浜文化ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となったものの、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。</li> <li>※美浜文化ホールは経過観察2期目</li> </ul>

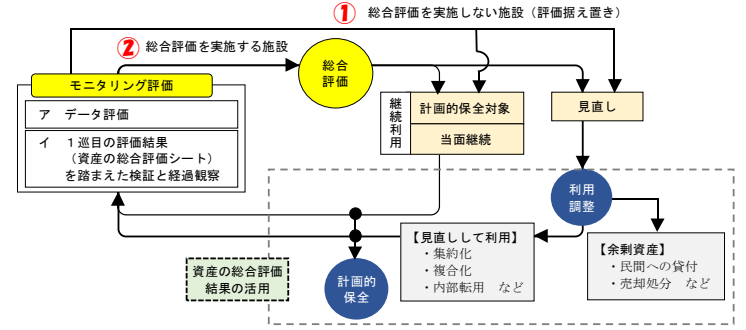
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1 巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1 巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1 巡目）										資産の総合評価（2 巡目）・令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要				
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性						
1	千葉市民ギャラリー・いなげ	26	26-17	△	52.2	5	41,170	2	△	継続利用	当面継続	52.4	人/㎡	5	38,373	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	1-25	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 耐震補強工事後（R2・1～）の利用 状況に注視し、必要規模について精査 していく必要がある
2	郷土博物館	26	26-18	△	14.1	2	41,527	2	△	継続利用	当面継続	23.5	人/㎡	3	35,038	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> あり方検討のため評価結果据置き
3	埋蔵文化財調査センター	26	26-19	-	-	-	-	-	△	継続利用	当面継続	1.3	人/㎡	-	23,610	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	科学館	26			19.6	3	30,832	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	22.4	人/㎡	3	28,148	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	文化系施設（博物館）
-------	------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【千葉市民ギャラリー・いなげ】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【郷土博物館】 ・資産の総合評価1 巡目のデータ評価に加え、2 巡目のデータ評価においても「課題あり」となったものの、あり方検討のため評価結果を据置きとする。</p> <p>【埋蔵文化財調査センター】 ・他の施設と違い公用施設的な側面が強く、相対評価にそぐわないため、相対評価を実施しない。 ※資産の総合評価1 巡目と同様の対応。なお、状況変化少ないことから、評価結果の見直しを実施しないものと判断した。</p>



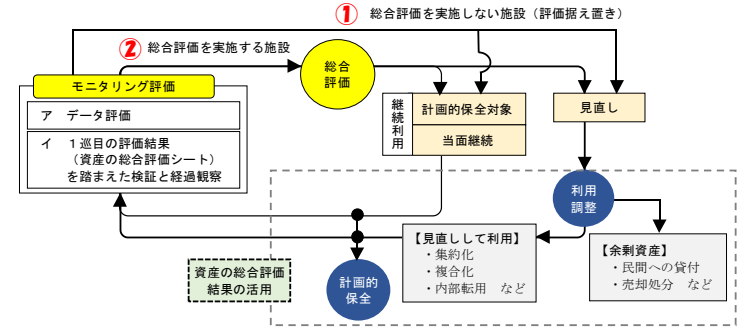
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用率		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	中央図書館	27	27-1	76.2	2	△	87,815	2	△	継続利用	計画的保全	72.5	人/nf	2	△	69,120	円/nf	2	△	①	○	継続利用	計画的保全	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない	
2	みやこ図書館	27	27-2	69.9	2	△	44,866	4		継続利用	当面継続	67.7	人/nf	2	△	46,676	円/nf	3		①	○	継続利用	当面継続	1-26 <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するものの、利用率の改善を図る必要がある (同区内の中央図書館の動向を注視)	
3	花見川図書館	27	27-3	△	83.5	2	△	62,296	3		当面継続	継続利用	72.5	人/nf	2	△	65,845	円/nf	3		①	○	継続利用	当面継続	1-27 <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するものの、利用率の改善を図る必要がある (同区内のみずほハスの花図書館の動向を注視)
4	稲毛図書館	27		132.0	3		55,698	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	93.6	人/nf	2	△	38,563	円/nf	4		①	□	継続利用	計画的保全	経過観察 利用率課題あり（2期連続）	
5	若葉図書館	27	27-4	△	128.6	3	69,147	3		継続利用	当面継続	111.9	人/nf	3		66,769	円/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> 隣接している千城台公民館の評価替を検討予定 今後の動向を注視する	
6	緑図書館	27		145.3	3		44,934	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	138.3	人/nf	3		40,043	円/nf	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)	
7	美浜図書館	27	27-5	378.0	5		108,788	1	△	継続利用	計画的保全	366.9	人/nf	5		101,468	円/nf	1	△	①	○	継続利用	計画的保全	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない	
8	みやこ図書館白旗分館	27	27-6	△	193.2	3	60,423	3		継続利用	当面継続	169.2	人/nf	3		57,888	円/nf	3		①	○	見直し	周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方の検討	1-28 ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 周辺類似施設との機能統合等を含めた施設のあり方を検討していく方針	
9	花見川図書館 花見川団地分館	27		134.1	3		49,706	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	73.8	人/nf	2	△	32,899	円/nf	4		①	□	継続利用	計画的保全	経過観察 利用率課題あり（2期連続）	

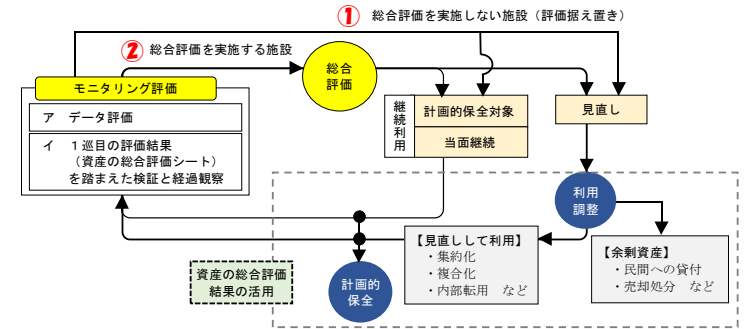
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全(1巡目)であるが、データ評価で課題あり ・見直し(1巡目)であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数(建物)5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)										資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価		データ評価					総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証					【参考】R元年度評価番号	検証結果概要		
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	ルート	評価結果	方向性								
10	みずほハスの花図書館																							<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 運営コストに課題あるものの、新設に伴う経費の一時的な増加 (H28年度) が要因であることから、経過観察としない
11	若葉図書館泉分館	27	27-7							見直し	その他 (運営の効率化)													評価結果を踏まえ個別に検討を行う
12	若葉図書館西都賀分館	27	27-8	△						継続利用	当面継続													<個別事情により評価据置き> 資産の総合評価1巡目において一体的に検討すべきとしていたみつわ台公民館が評価据置きであるため、本施設も同様の取扱いとする
13	緑図書館あずみが丘分館	27								継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし													経過観察 運営コスト課題あり (1期目)
14	緑図書館土気図書室	27	27-9	△						見直し	集約化													評価結果を踏まえ個別に検討を行う
15	美浜図書館打瀬分館	27								継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし													(データ評価で課題なし)

グループ名	図書館
-------	-----

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数 (3カ年平均値) が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【中央図書館、美浜図書館】 ・資産の総合評価1巡目のデータ評価に加え、2巡目のデータ評価においても「課題あり」となったものの、状況に変化しないことから評価結果を据置きとする。</p> <p>【若葉図書館、若葉図書館西都賀分館】 ・2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、個別事情により評価結果を据置きとする。</p> <p>【みやこ図書館、花見川図書館、みやこ図書館白旗分館、みずほハスの花図書館】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【稲毛図書館、花見川図書館花見川団地分館、緑図書館あずみが丘分館】 ・資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となり、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。 ※稲毛図書館、花見川図書館花見川団地分館は経過観察2期目</p>

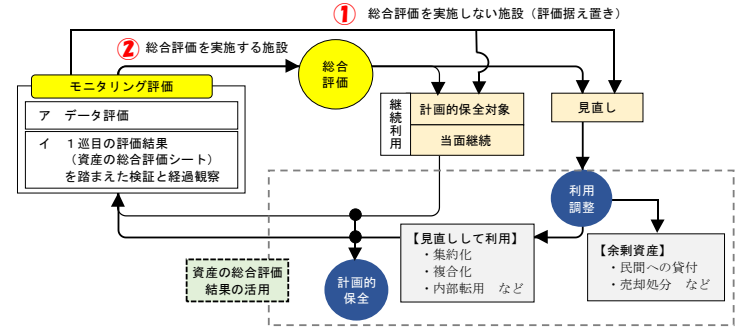
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要				
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性						
1	亥鼻公園集会所	27	27-10	△	49.2	5	301,412	1	△	継続利用	当面継続	62.0	%	5	160,610	円/㎡	2	△	①	○	見直し	施設の必要性を含めた施設のあり方の検討	1-29	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施評価結果を踏まえ個別に検討を行う施設の必要性を含めた施設のあり方を検討していく方針
2	千葉公園集会所(好日亭)	27	27-11	△	24.3	2	△	22,459	4	継続利用	当面継続	17.9	%	2	△	25,290	円/㎡	4	①	○	見直し	施設の必要性を含めた施設のあり方の検討	1-30	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施評価結果を踏まえ個別に検討を行う施設の必要性を含めた施設のあり方を検討していく方針
3	都市緑化植物園(緑の相談所)	27	27-12	△	41.1	4	156,112	3	継続利用	当面継続	40.6	%	4	128,538	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続			<個別事情により評価据置き> データ評価で課題ありとなったものの、利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする
4	稲毛海浜公園教養施設	27	27-13	△			28,084	4	継続利用	当面継続			△	17,922	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続			1-31	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施民間事業者と協定を締結しており、事業期間（20年）の間は現用のまま継続して使用する
	【内訳】 稲毛記念館	27			32.4	3						28.5	%	3	△			①	○					
	【内訳】 海星庵	27		△	33.9	3						16.2	%	2	△			①	○					
	【内訳】 野外音楽堂	27		△	18.0	2	△					17.5	%	2	△			①	○					

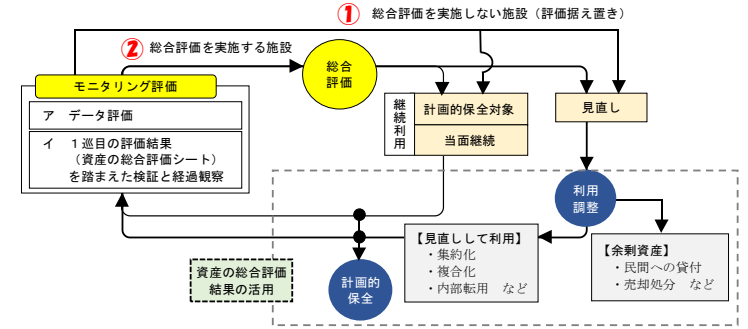
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全(1巡目)であるが、データ評価で課題あり ・見直し(1巡目)であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数(建物)5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)										資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果										
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性						
5	泉自然公園 (講堂)	27	27-14	△	2.9	-	-	705	-	-	継続利用	当面継続	-	%	-	-	624	円/m <sup>2</sup>	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 公園緑地事務所と一体で別途検討されているため、評価据置きとする

グループ名	公園・レクリエーション施設 (有料公園施設 (貸室))
-------	-----------------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率 (3カ年平均値) が5段階評価で2以下
	イ 稼働率 (3カ年平均値) が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>稲毛海浜公園教養施設の利用度は機能ごとに4施設に分割して相対評価した。</li> </ul> <p>【亥鼻公園集会所、千葉公園集会所 (好日亭)、稲毛海浜公園教養施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【都市緑化植物園 (緑の相談所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする</li> </ul> <p>【泉自然公園 (講堂)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若葉公園緑地事務所との複合施設。</li> <li>なお、泉自然公園 (講堂) は公園緑地事務所と一体で別途検討されていることから、評価据置きとする。</li> </ul>

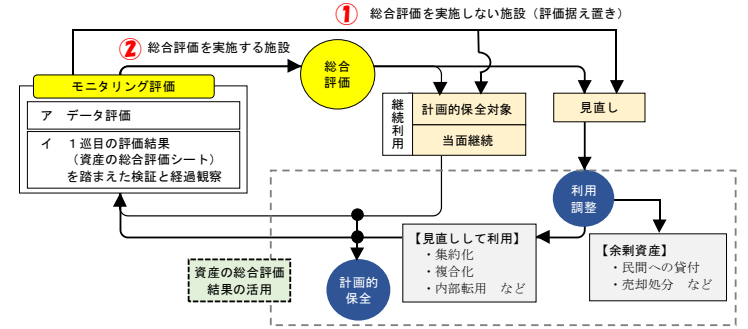
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性									
1	花見川緑地交通公園	27	27-15		3.0	-	-	742	-	-	継続利用	当面継続		3.7	人/㎡	-	-	628	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	旅客船ターミナル等複合施設「ケーズハーバー」													234.8	人/㎡	-	-	25,123	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続	30-4	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 民間企業が施設整備を行っており、事業期間の間 (~R17.1) は現用途のまま継続して使用する

グループ名	公園・レクリエーション施設 (屋外集客系施設)
-------	-------------------------

留意事項
<p>・屋外集客系施設は2施設しかなく、類似施設もないことから、相対評価を実施しない。</p> <p>【花見川緑地交通公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度は「敷地面積当たり利用者数」、運営コストは「敷地面積当たり運営コスト」を記載している。 ※敷地面積： 30,335㎡</li> <li>・利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする</li> </ul> <p>【旅客船ターミナル等複合施設「ケーズハーバー」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

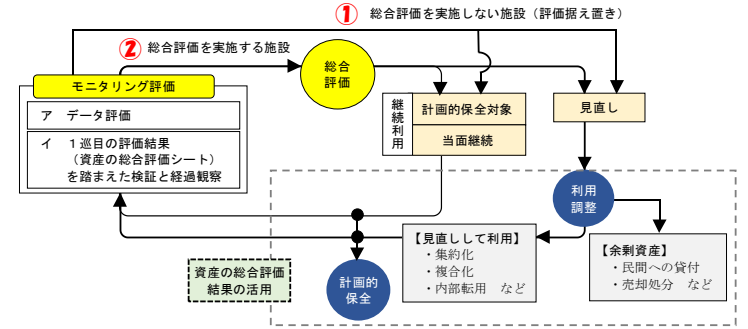
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性				
1	千葉ポートタワー	27	27-16	△	56.7	5	78,718	1	△	継続利用	当面継続	58.5	人/nf	5	32,158	円/nf	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 資産の総合評価1 巡目において、以下の内容の評価結果となっていることから、当面の間は評価据置きとする。 「施設の老朽化に伴う改修費の増額が見込まれるため、本市が継続運営するべきかについて、今後の利用状況や千葉中央港地区のまちづくりの方向性も踏まえ検討を行うべき」	
2	花の美術館 (三陽メディアフラワーミュージアム)	27			24.3	3	53,666	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	32.8	人/nf	3	48,370	円/nf	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト (2 期連続) 課題あり
	【参考】 美術館	27			19.5		36,803					15.6	人/nf		45,629	円/nf		①	○					
	【参考】 科学館	27			19.1		32,144					22.4	人/nf		28,148	円/nf		①	○					

グループ名	公園・レクリエーション施設 (屋内集客系施設)
-------	-------------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数 (3 カ年平均値) が 5 段階評価で 2 以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト (3 カ年平均値) が 5 段階評価で 2 以下

留意事項
<p>・屋内集客系施設は2施設しかないことから、相対評価を行うため、類似施設である美術館や科学館を参考値として評価を行った。</p> <p>【千葉ポートタワー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価1 巡目において、以下の内容の評価結果となっていることから、当面の間は評価据置きとする。</li> <li>「施設の老朽化に伴う改修費の増額が見込まれるため、本市が継続運営するべきかについて、今後の利用状況や千葉中央港地区のまちづくりの方向性も踏まえ検討を行うべき」</li> </ul> <p>【花の美術館 (三陽メディアフラワーミュージアム)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価2 巡目のデータ評価で「課題あり」となったものの、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。</li> <li>※経過観察2 期目</li> </ul>

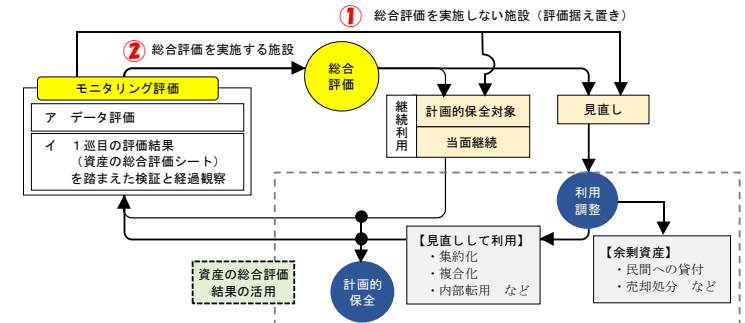
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全(1巡目)であるが、データ評価で課題あり ・見直し(1巡目)であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数(建物)5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)						資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価			総合評価			データ評価			総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果					
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	ルート	評価結果	方向性					
1	昭和の森フォレストビレッジ																				※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 運営管理は民間事業者が行っており、 契約期間の間 (~ R 6) は現用途のまま継続して使用する
2	少年自然の家	27	27-17	5.8	-	-	21,167	-	-	継続利用	当面継続										※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	公園・レクリエーション施設 (宿泊系施設)
-------	-----------------------

留意事項	
<p>・ 宿泊系施設は2施設しかなく、類似施設もないことから、相対評価を実施しない。</p> <p><b>【昭和の森フォレストビレッジ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p><b>【少年自然の家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用度は「面積当たり利用者数」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。</li> <li>・ 利用度・運営コストに大きな変動なく、状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする</li> </ul>	

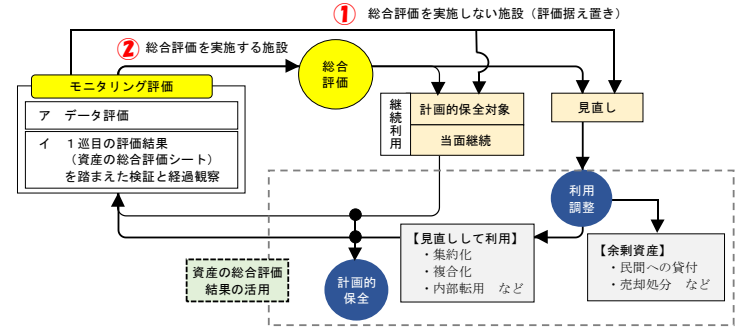
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)										資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		建物性能	データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果		方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	男女共同参画センター	27	27-18		21.7	-	-	46,726	-	-	見直し	その他 (貸室のあり方検討)		18.0	人/nf	-	-	38,245	円/nf	-	-	①	○	見直し	その他 (貸室のあり方検討)		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
2	国際交流プラザ	27	27-19		29.3	-	-	7,603	-	-	継続利用	当面継続		44.3	人/nf	-	-	26,296	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※H29年度に一時的な修繕が発生しているため、運営コストが増加している
3	市民活動支援センター	27	27-20		80.8	-	-	106,312	-	-	継続利用	当面継続		96.9	人/nf	-	-	108,946	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	栄町立休駐車場	27	27-21	△	4.8	-	-	4,813	-	-	継続利用	当面継続		5.4	人/nf	-	-	5,009	円/nf	-	-	①	○	見直し	民間等による施設活用の可能性を含めた施設のあり方の検討	1-32	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 評価結果を踏まえ個別に検討を行う 民間等による施設活用の可能性を含めた施設のあり方を検討する方針
5	地域開放モデル事業予定地 (旧花見川第五小学校)	27	27-22	△	14.6	-	-	5,293	-	-	継続利用	当面継続		11.4	人/nf	-	-	3,570	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-32	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 敷地内の校舎跡地の活用など、今後の方向性について検討中
6	おゆみ野ふれあい館 地域活動施設	27	27-23		29.3	-	-	7,981	-	-	継続利用	当面継続		28.7	人/nf	-	-	4,841	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	その他
-------	-----

留意事項

- ・各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。
- ・参考として、利用度は「面積当たり利用者数」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。

【国際交流プラザ、市民活動支援センター、おゆみ野ふれあい館地域活動施設】 ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする

【栄町立休駐車場、地域開放モデル事業予定地 (旧花見川第五小学校)】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。



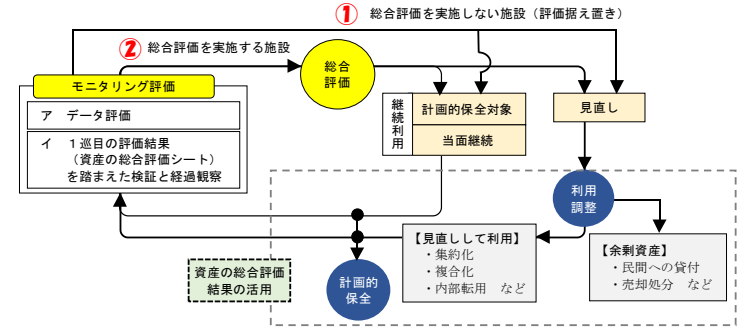
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1 巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1 巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1 巡目）										資産の総合評価（2 巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性					
1	青少年サポートセンター東分室	28	28-1	1.1	2	△	151,450	3		継続利用	当面継続	0.9	件/nf	2	△	136,525	円/nf	3	①	○	継続利用	当面継続	1-34	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 必要規模等を精査する必要があるもの の、当面は利用を継続する	
2	青少年サポートセンター西分室	28	28-2	1.3	2	△	267,840	1	△	継続利用	当面継続	1.3	件/nf	2	△	231,077	円/nf	1	△	①	○	継続利用	当面継続	1-35	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は継続して利用するものの、運営 コストの改善を検討する必要がある
3	青少年サポートセンター南分室	28		2.5	4		143,972	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	3.1	件/nf	5		134,827	円/nf	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	
4	青少年サポートセンター北分室	28		2.1	4		126,475	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	1.9	件/nf	3		128,212	円/nf	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)	

グループ名	福祉系施設（青少年サポートセンター）
-------	--------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【青少年サポートセンター（東分室、西分室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

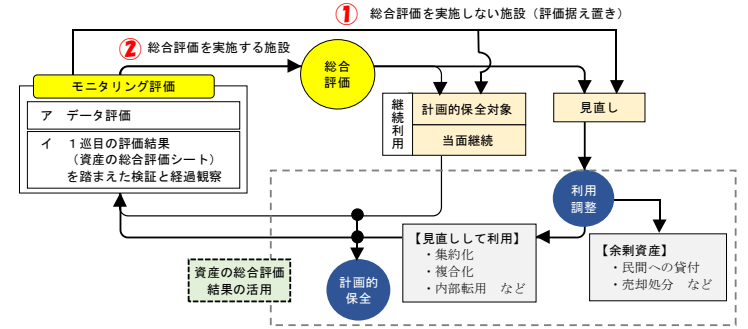
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	児童相談所	28	28-3		1.5	-	-	12,727	-	-	継続利用	計画的保全		1.9	人/㎡	-	-	29,008	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	子ども交流館	28	28-4		20.3	-	-	19,835	-	-	継続利用	計画的保全		22.5	人/㎡	-	-	20,928	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	子育て支援館	28	28-5		49.0	-	-	49,138	-	-	継続利用	計画的保全		45.0	人/㎡	-	-	49,785	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	福祉系施設（その他（子育て））
-------	-----------------

留意事項

- ・各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。
- ・参考として、利用度は「面積当たり利用者数」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。

【児童相談所、子ども交流館、子育て支援館】

- ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする

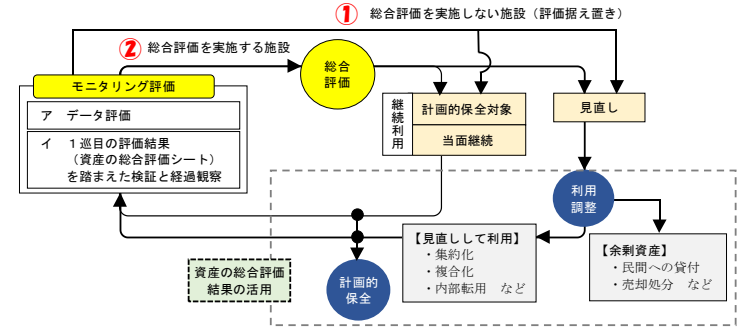
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価																
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証								
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果	方向性	※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定													
1	おゆみ野中央・子育てリラククス館												133.8	人/nf	4		142,811	円/nf	3			①	○	継続利用	当面継続	30-6	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は現用途のまま継続して使用するが、法定耐用年数が経過するまでに、代替地や施設規模を検討していく必要がある	
2	蘇我・子育てリラククス館												99.8	人/nf	3		84,560	円/nf	5			①	○	継続利用	当面継続	30-7	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は現用途のまま継続して使用するが、法定耐用年数が経過するまでに、代替地や施設規模を検討していく必要がある	
3	高洲・子育てリラククス館												78.0	人/nf	3		55,567	円/nf	5			①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)	
	【参考】千葉寺・子育てリラククス館												121.1	人/nf			182,487	円/nf										
	【参考】花見川・子育てリラククス館												67.8	人/nf			118,202	円/nf										
	【参考】幕張本郷・子育てリラククス館												159.8	人/nf			262,410	円/nf										
	【参考】てんだい・子育てリラククス館												115.6	人/nf			178,581	円/nf										
	【参考】千城台・子育てリラククス館												120.7	人/nf			238,777	円/nf										
	【参考】かまとり・子育てリラククス館												70.4	人/nf			142,040	円/nf										

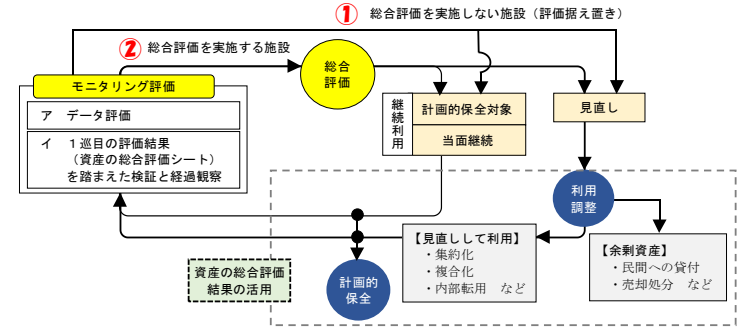
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的保全 (1巡目) であるが、データ評価で課題あり</li> <li>・見直し (1巡目) であるが、データ評価で課題なし</li> </ul>	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5年以下</li> <li>・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外</li> <li>・運営形態に変化がある</li> </ul>	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)								資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価										
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性		
	【参考】幸町・子育てリラックス館																			
	【参考】そのう・子育てリラックス館																			
	【参考】都賀駅前・子育てリラックス館																			

グループ名	福祉系施設 (子育てリラックス館)
-------	-------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数 (3カ年平均値) が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てリラックス館 1 2 施設を相対評価実施。3 施設 (おゆみ野中央、蘇我、高洲) 以外の 9 施設は、市の所有施設ではないことから評価対象外とする。</li> <li>【子育てリラックス館 (おゆみ野中央、蘇我) 】</li> <li>・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

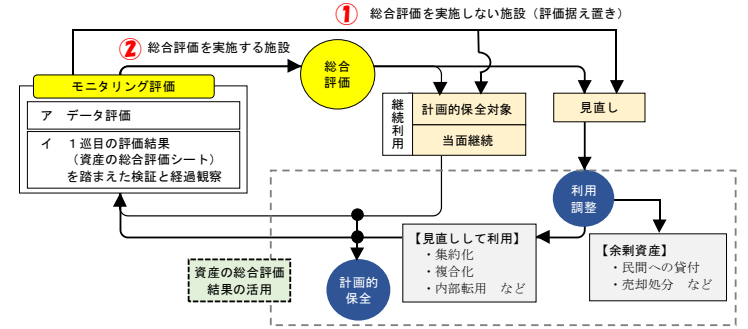
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)									資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価										
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価			データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用率	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要			
1	富田都市農業交流センター	28		220.0	4	78,964	3	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	259.3	人/nf	4	76,374	円/nf	3	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		R元年度のデータ評価において、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる
2	下田都市農業交流センター	28		137.9	3	21,683	4	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	129.6	人/nf	3	20,975	円/nf	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	中田都市農業交流センター	28	28-7	64.5	2	△	91,536	2	△	継続利用	当面継続	77.1	人/nf	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等によりデータ評価で課題ありとなっているため、H30年度と同様、評価据置きとする

グループ名	商業・農業系施設 (都市農業交流センター)
-------	-----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用率	ア 面積当たり利用者数 (3カ年平均値) が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【富田都市農業交流センター】 ・前年度「経過観察」となったものの、今回のデータ評価において課題が解消されたことから経過観察をとりやめる。</p> <p>【中田都市農業交流センター】 ・データ評価で課題ありとなったものの、施設の立地条件、設置背景等によるものであり、H30年度と同様、評価据置きとする</p>

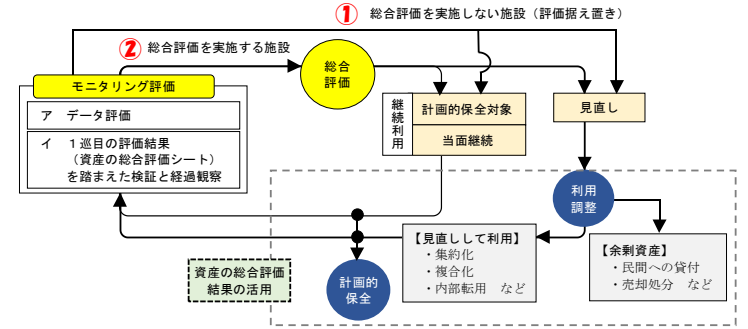
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
1	ふるさと農園	28	28-6	△	50.4	-	-	30,994	-	-	見直し	貸付・売却等	52.7	人/nf	-	-	31,488	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-36	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 (評価区分「当面継続」に変更) 指定管理期間 (～R6. 3) は当面継続とし、今後の利用者数への影響及び運営コストへの影響を注視していく
2	農政センター	28	28-8	△	2.4	-	-	8,470	-	-	継続利用	当面継続	2.0	人/nf	-	-	7,368	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	地方卸売市場	28	28-10	△	1.9	-	-	11,429	-	-	継続利用	当面継続	1.8	t/nf	-	-	14,163	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続	1-38	※相対評価なし ※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 事業者への用地の貸付など、資産の効率利用や費用削減に向けた取組みが進められていることなどから、当面は利用を継続し、動向を注視することとする
4	CHIBA LABO (チバラボ)	28	28-11		33.7	-	-	25,672	-	-	継続利用	当面継続	21.9	人/nf	-	-	18,703	円/nf	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	商業・農業系施設 (その他 (産業・農業))
-------	------------------------

留意事項

- ・各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。
- ・参考として、利用度は「面積当たり利用者数」や「面積当たり取扱量」、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。

【ふるさと農園、地方卸売市場】

- ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

【農政センター、CHIBA LABO (チバラボ)】

- ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする

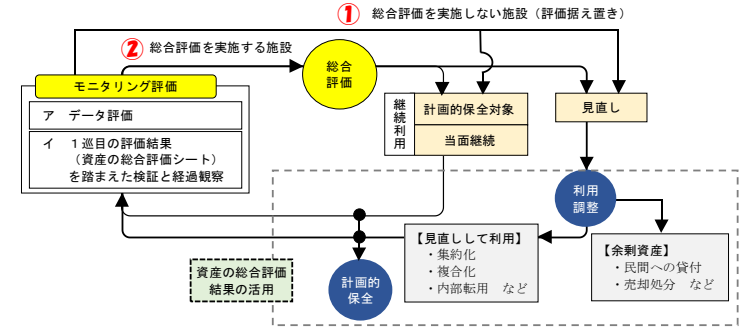
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全(1巡目)であるが、データ評価で課題あり ・見直し(1巡目)であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数(建物)5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)								資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価											
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性			建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号
		評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性				
1	自立・就労サポートセンター中央																計画的保全			30-9	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 H30年度はデータ評価(相対評価)を行わず総合評価を実施 今後、R1年度のデータを基準に状況の変化を確認していく※2
2	自立・就労サポートセンター花見川																計画的保全			30-10	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 ※2
3	自立・就労サポートセンター稲毛																計画的保全			30-11	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 ※2
4	自立・就労サポートセンター若葉																計画的保全			30-12	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 ※2

グループ名	産業・農業系施設 (自立・就労サポートセンター)
-------	--------------------------

留意事項
【自立・就労サポートセンター(中央、花見川、稲毛、若葉)】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。

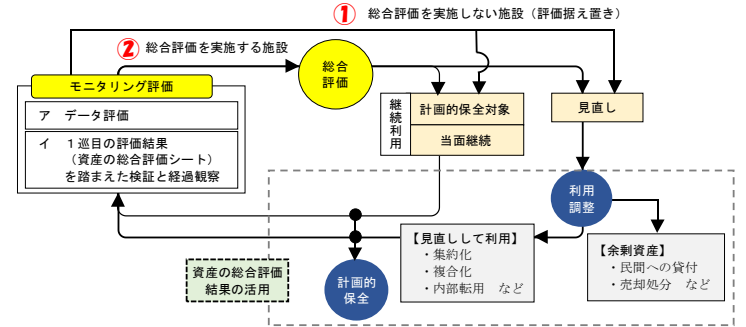
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)								資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要		
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果							
評価	判定	評価	判定		評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果	方向性					
1	ふるさとハローワークいなげ																				30-13	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全	
2	ふるさとハローワークみどり																					30-14	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全

グループ名	産業・農業系施設 (ふるさとハローワーク)
-------	-----------------------

留意事項

【ふるさとハローワーク (いなげ、みどり)】  
・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。



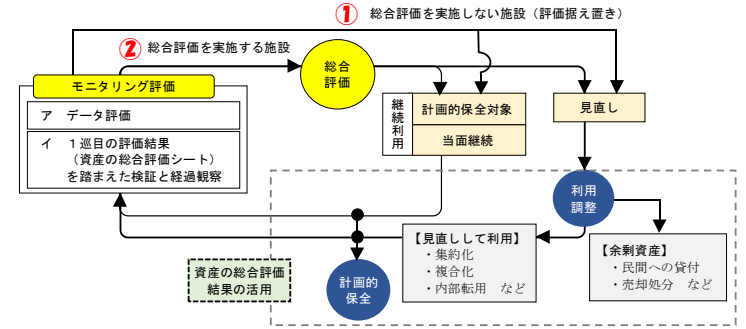
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価	判定			評価結果	方向性				
1	花見川区役所	28		93.9	4		10,184	5		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	71.3	件/㎡	4		8,029	円/㎡	5		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
2	稲毛区役所	28	28-13	89.8	4		12,731	2	△	継続利用	計画的保全	69.3	件/㎡	4		10,684	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	若葉区役所	28		93.31	4		12,038	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	68.5	件/㎡	3		12,142	円/㎡	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 運営コスト (2期連続) 課題あり
4	緑区役所	28	28-14	58.1	1	△	11,222	4		継続利用	計画的保全	49.2	件/㎡	1	△	12,253	円/㎡	2	△	①	□	継続利用	計画的保全		経過観察 利用度・運営コスト (2期連続) 課題あり
5	美浜区役所	28		81.84	3		11,429	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	66.7	件/㎡	3		10,944	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	行政施設 (区役所)
-------	------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【区役所 (若葉、緑)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となったものの、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。</li> <li>※経過観察2期目</li> </ul>

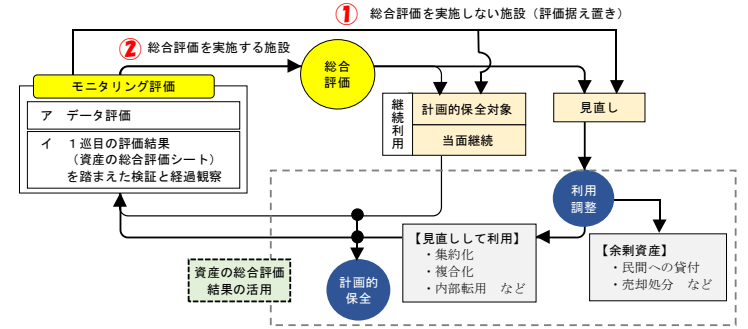
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1 巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1 巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1 巡目）										資産の総合評価（2 巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性					
1	花見川保健福祉センター	28		48.4	5		9,171	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	43.1	件/㎡	4		9,531	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
2	稲毛保健福祉センター	28		40.7	3		10,167	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	42.6	件/㎡	3		9,449	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
3	若葉保健福祉センター	28		41.8	4		10,378	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	49.5	件/㎡	4		10,421	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
4	緑保健福祉センター	28	28-27	34.5	2	△	12,220	2	△	継続利用	計画的保全	29.6	件/㎡	2	△	13,559	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1 巡目と状況に変化なく、経過観察としない
5	美浜保健福祉センター	28	28-28	35.8	2	△	12,865	2	△	継続利用	計画的保全	27.2	件/㎡	2	△	11,500	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1 巡目と状況に変化なく、経過観察としない

グループ名	行政施設（保健福祉センター）
-------	----------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【保健福祉センター（緑、美浜）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産の総合評価1 巡目のデータ評価に加え、2 巡目のデータ評価においても「課題あり」となったものの、状況に変化ないことから評価結果を据置きとする。</li> </ul>

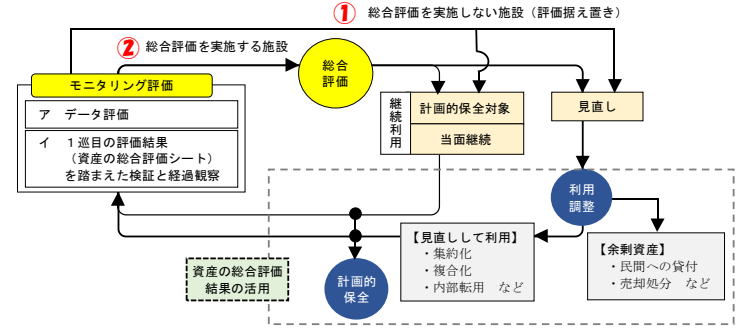
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価																		
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要											
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性														
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定													
1	生浜市民センター	28	28-15			582.9	4			316,857	2	△	継続利用	計画的保全			435.2	件/㎡	3		323,075	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
2	松ヶ丘市民センター	28	28-16			828.2	5			383,440	2	△	継続利用	当面継続			585.4	件/㎡	4		392,039	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 複合施設である松ヶ丘公民館が評価据置きであるため、本施設も同様の取扱いとする
3	猿橋市民センター																368.6	件/㎡	3		358,584	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続	30-8	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 賃貸借契約期間中（～R9.8）は現用途のまま継続して使用する
4	さつきが丘市民センター	28	28-17	△		340.9	3			251,818	3		継続利用	当面継続			306.9	件/㎡	3		255,191	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-39	※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況等を注視する 将来の建替え等の検討においては、周辺施設との複合化などを含めて検討する必要がある
5	花見川市民センター	28				413.9	3			174,137	4		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			355.8	件/㎡	3		182,464	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
6	幕張本郷市民センター	28	28-18			791.5	5			498,019	1	△	継続利用	計画的保全			777.4	件/㎡	5		511,483	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
7	山王市民センター	28	28-19	△		209.1	2	△		139,225	4		継続利用	当面継続			203.5	件/㎡	2	△	218,548	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続	1-40	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続（残耐用年数5年を目安）
8	泉市民センター	28	28-20	△		74.5	2	△		72,591	4		継続利用	当面継続			74.2	件/㎡	1	△	75,615	円/㎡	5		①	○	継続利用	当面継続	1-41	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続（残耐用年数5年を目安）
9	千城台市民センター	28				464.1	3			250,749	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			416.9	件/㎡	3		226,955	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

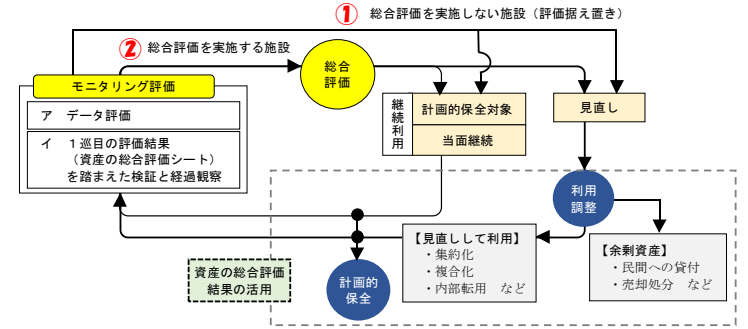
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性				
10	土気市民センター	28	28-21	△	256.0	2	△	106,835	4	継続利用	当面継続	231.9	件/m <sup>2</sup>	2	△	111,355	円/m <sup>2</sup>	4	①	○	継続利用	当面継続	1-42	<個別事情により評価据置き>] R元年度に総合評価実施 当面継続とするが、将来の建替え等の検討においては、必要規模を精査するとともに、周辺施設のと一体的な検討を図る必要がある
11	誉田市民センター	28	28-22		270.2	2	△	256,607	3	継続利用	当面継続	252.7	件/m <sup>2</sup>	2	△	265,891	円/m <sup>2</sup>	3	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 複合施設である誉田公民館が評価据置きであるため、本施設も同様の取扱いとする

グループ名	行政施設（市民センター）
-------	--------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【市民センター（横橋、さつきが丘、山王、泉、土気）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【市民センター（松ヶ丘、誉田）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2巡目のデータ評価において「課題あり」となったものの、個別事情により評価結果を据置きとする。</li> </ul> <p>【市民センター（幕張本郷）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul>

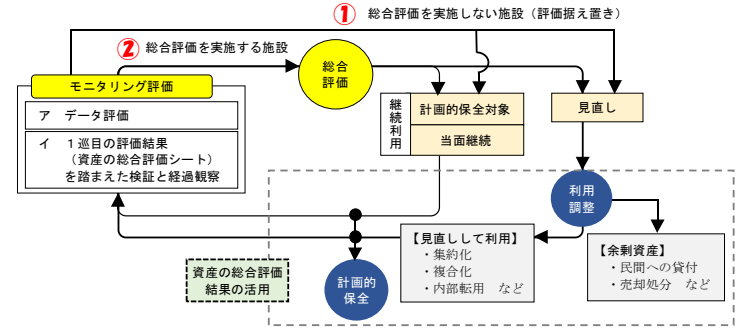
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性							
1	蘇我駅前連絡所	28			420.1	5		125,456	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		741.1	件/㎡	5		22,780	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
2	こてはし台連絡所	28	28-23	△	294.9	4		133,921	3		見直し	集約化		260.3	件/㎡	3		105,518	円/㎡	2	△	①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
3	長作連絡所	28	28-24		141.9	2	△	226,144	1	△	見直し	集約化		127.4	件/㎡	2	△	178,353	円/㎡	1	△	①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
4	大宮台連絡所	28			196.8	3		139,153	3		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		176.5	件/㎡	3		11,328	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
5	椎名連絡所	28	28-25	△	17.9	2	△	33,771	5		見直し	集約化		18.4	件/㎡	2	△	30,125	円/㎡	4		①	○	見直し	集約化		評価結果を踏まえ個別に検討を行う

グループ名	行政施設（連絡所）
-------	-----------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり事務処理件数が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>【連絡所（こてはし台、長作、椎名）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul>

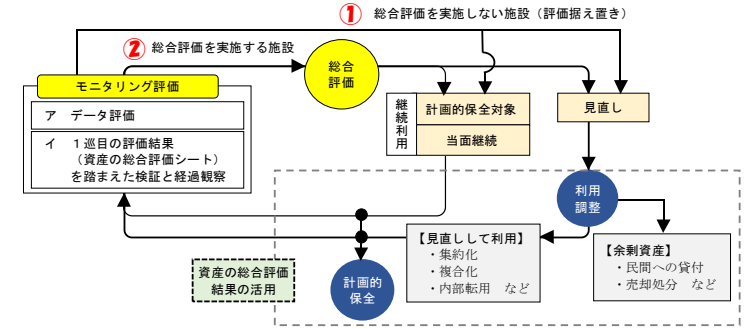
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）											資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価					データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性										
1	東京事務所	28	28-29		0.032	-	-	116,173	-	-	継続利用	当面継続			-	人/㎡	-	-	36,577	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	幕張新都心サテライトオフィス	28	28-30		0.059	-	-	60,044	-	-	継続利用	当面継続			-	人/㎡	-	-	28,501	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	職員研修所	28	28-31		0.002	-	-	12,850	-	-	継続利用	計画的保全			-	人/㎡	-	-	10,378	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	総合保健医療センター	28	28-32		0.013	-	-	17,768	-	-	継続利用	計画的保全			-	人/㎡	-	-	19,780	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	行政施設（事務所等）
-------	------------

留意事項
<p>・各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。 ・参考として、運営コストは「面積当たり運営コスト」を記載している。 ※資産の総合評価1巡目では、利用度として面積当たりの職員数を記載。 【東京事務所、幕張新都心サテライトオフィス、職員研修所、総合保健医療センター】 ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</p>

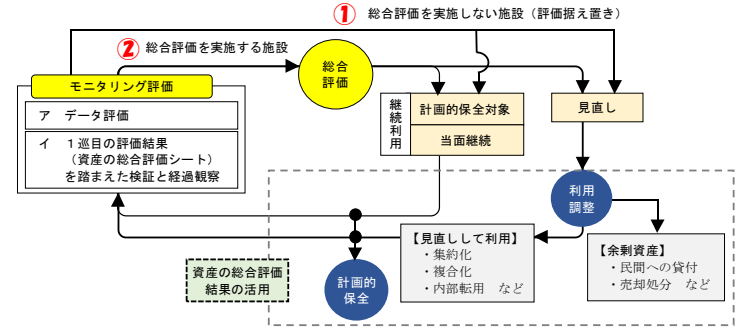
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性							
1	消防局・中央消防署	29	29-1	5,147.0	-	-	18,100	1	△	継続利用	計画的保全	5,783.3	件	-	-	13,912	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価元巡目と状況に変化なく、経過観察としない
2	花見川消防署	29	29-2	2,473.0	-	-	8,900	3		継続利用	計画的保全	2,495.7	件	-	-	8,164	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
3	稲毛消防署	29	29-3	3,149.0	-	-	7,300	4		継続利用	計画的保全	3,330.0	件	-	-	7,534	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
4	若葉消防署	29	29-4	1,317.0	-	-	7,900	4		継続利用	計画的保全	1,352.3	件	-	-	7,812	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
5	緑消防署	29	29-5	1,929.0	-	-	8,100	3		継続利用	計画的保全	2,070.0	件	-	-	8,529	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
6	美浜消防署	29	29-6	3,095.0	-	-	8,900	3		継続利用	計画的保全	3,098.0	件	-	-	9,212	円/㎡	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)

グループ名	行政施設（消防施設（消防署））
-------	-----------------

留意事項

・参考値として出動件数を利用度として記載。

【消防局・中央消防署】

・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。

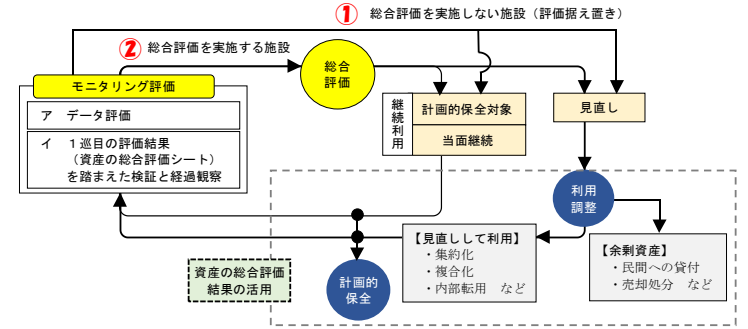
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性										
1	中央消防署蘇我出張所	29	29-7	2,353.0	-	-	16,000	4	継続利用	計画的保全	2,331.0	件	-	-	16,670	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)				
2	中央消防署宮崎出張所			2,306.0	-	-	13,500	4		<個別に取組みあり> 建替中	2,409.3	件	-	-	13,535	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	-	(データ評価で課題なし)			
3	中央消防署生浜出張所	29	29-8	1,718.0	-	-	26,700	2	△	継続利用	計画的保全	1,719.3	件	-	-	29,839	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	計画的保全	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない		
4	中央消防署臨港出張所	29	29-9	△	2,525.0	-	-	8,900	5	継続利用	当面継続	2,377.0	件	-	-	19,007	円/㎡	4	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする			
5	花見川消防署幕張出張所	29	29-10	2,728.0	-	-	16,200	4	継続利用	計画的保全	2,788.0	件	-	-	16,949	円/㎡	4	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
6	花見川消防署畑出張所	29	29-11	△	2,357.0	-	-	24,400	2	△	継続利用	当面継続	残耐3年	2,409.7	件	-	-	22,702	円/㎡	3	②	★	継続利用	当面継続	※建物性能のみ 課題あり <評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する	
7	花見川消防署作新出張所	29	29-12	△	2,085.0	-	-	29,800	1	△	継続利用	当面継続	残耐5年	2,232.7	件	-	-	34,242	円/㎡	1	△	②	★	継続利用	当面継続	※建物性能のみ 課題あり <評価替検討（総合評価実施）> 残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する
8	稲毛消防署西千葉出張所	29	29-13	2,687.0	-	-	20,700	3	継続利用	計画的保全	2,897.7	件	-	-	21,529	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
9	若葉消防署桜木出張所	29	29-14	△	2,554.0	-	-	22,400	3	継続利用	当面継続	2,726.7	件	-	-	22,633	円/㎡	3	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする			
10	若葉消防署大宮出張所	29	29-15	1,499.0	-	-	16,300	4	継続利用	計画的保全	1,564.7	件	-	-	20,752	円/㎡	3	①	○	継続利用	計画的保全	(データ評価で課題なし)				
11	若葉消防署都賀出張所	29	29-16	△	2,641.0	-	-	28,600	2	△	継続利用	当面継続	2,702.0	件	-	-	32,027	円/㎡	1	△	①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする	



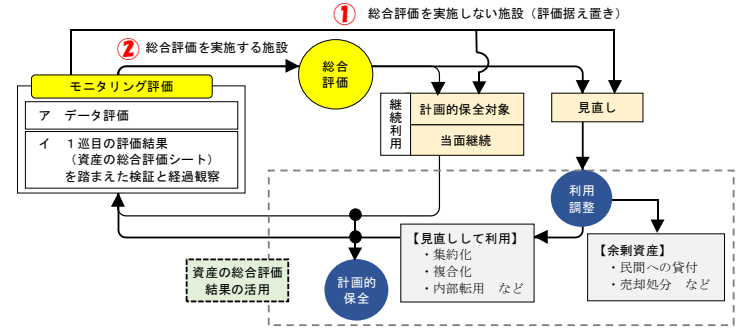
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定									
12	若葉消防署出張所	29	29-17	△	667.0	-	-	25,900	2	△	継続利用	当面継続	671.7	件	-	-	27,433	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする
13	若葉消防署殿台出張所	29	29-18		2,663.0	-	-	21,700	3		継続利用	当面継続	2,814.3	件	-	-	24,526	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする
14	緑消防署菅田出張所	29	29-19		1,483.0	-	-	17,600	3		継続利用	計画的保全	1,566.3	件	-	-	17,684	円/㎡	4		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
15	緑消防署土気出張所	29	29-20	△	1,241.0	-	-	30,000	1	△	継続利用	当面継続	1,261.0	件	-	-	30,983	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする
16	緑消防署越智出張所	29	29-21		883.0	-	-	21,900	3		継続利用	当面継続	939.7	件	-	-	23,146	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする
17	美浜消防署高浜出張所	29	29-22	△	2,561.0	-	-	18,600	3		継続利用	当面継続	2,628.3	件	-	-	20,268	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であるため、現時点では評価据置きとする
18	美浜消防署打瀬出張所	29	29-23		2,367.0	-	-	11,900	4		継続利用	計画的保全	2,259.7	件	-	-	12,771	円/㎡	5		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)

グループ名	行政施設（消防施設（出張所））
-------	-----------------

留意事項	
<p>・参考値として出動件数を利用度として記載。</p> <p>【出張所（臨港、桜木、都賀、泉、殿台、土気、越智、高浜）】</p> <p>【出張所（畑、作新台）】</p> <p>【出張所（生浜）】</p>	<p>・消防局において「消防署所の整備方針」見直し検討中であり、データ評価等で変化があった消防署所においても、当該方針策定まで評価据置きとする。 ※なお、以下の出張所（畑、作新台、生浜）は除く。</p> <p>・残耐用年数が5年以下のため、評価替を検討する。</p> <p>・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</p>

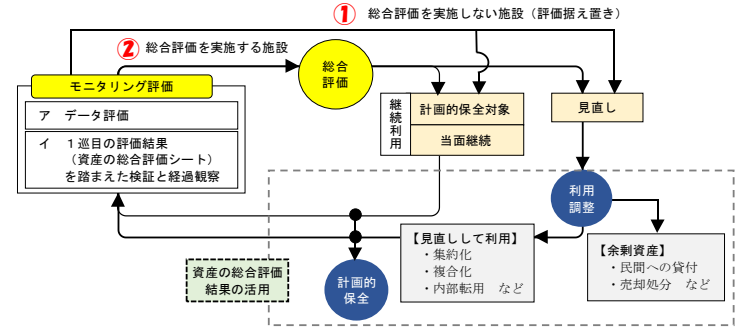
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全(1巡目)であるが、データ評価で課題あり ・見直し(1巡目)であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数(建物)5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1巡目)										資産の総合評価 (2巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価結果	方向性									
1	中央・美浜環境事業所	29	29-24	△	6,205.0	-	-	3,500	4		継続利用	当面継続	6,519.7	件	-	-	10,980	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>
2	花見川・稲毛環境事業所	29	29-25	△	13,080.0	-	-	5,400	2	△	継続利用	当面継続	12,768.3	件	-	-	4,574	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>
3	若葉・緑環境事業所	29	29-26		5,209.0	-	-	5,800	2	△	継続利用	当面継続	4,333.0	件	-	-	6,529	円/㎡	3		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> <3事業所のあり方検討中現時点では評価据置きとする>

グループ名	行政施設 (環境事業所)
-------	--------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト (3カ年平均値) が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考値として粗大ごみ自己搬入件数を利用度として記載。</li> <li>・3事業所のあり方検討中であることから、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul>

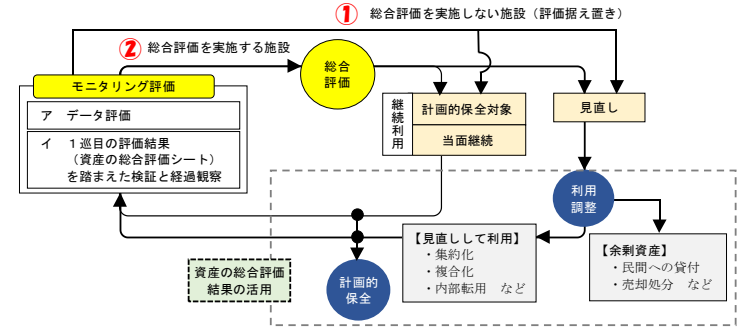
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	評価結果	方向性									
1	中央・稲毛公園緑地事務所	29	29-27	△	1,870.0	-	-	8,800	1	△	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）	-	件	-	-	121,568	円/㎡	1	△	①	○	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
2	花見川公園緑地事務所	29	29-28		1,219.0	-	-	2,800	4		継続利用	当面継続	-	件	-	-	4,619	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
3	若葉公園緑地事務所	29	29-29	△	925.0	-	-	7,100	2	△	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）	-	件	-	-	35,535	円/㎡	3		①	○	見直し	集約化、複合化 類似機能の統合 その他（あり方を検討）		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
4	緑公園緑地事務所	29	29-30	△	838.0	-	-	2,800	4		継続利用	当面継続	-	件	-	-	5,279	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
5	美浜公園緑地事務所	29	29-31	△	1,088.0	-	-	3,000	4		継続利用	当面継続	-	件	-	-	11,732	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする

グループ名	行政施設（公園緑地事務所）
-------	---------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
・3事業所のあり方検討中であることから、H30年度と同様、評価据置きとする。

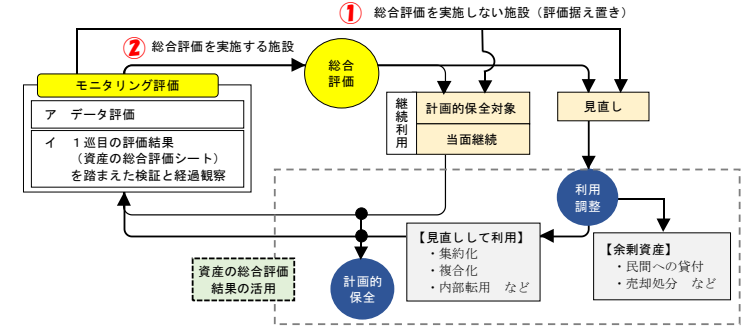
# 令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

## 【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

## 【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価																
		実施年度	評価番号	データ評価					総合評価					データ評価					総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証									
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性										
1	中央・美浜土木事務所	29	29-32	△	5,218.0	-	-	4,700	3		継続利用	当面継続			-	件	-	-	4,204	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		※建物性能のみ 課題あり <個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
2	花見川・稲毛土木事務所	29	29-33	△	3,558.0	-	-	4,600	3		継続利用	当面継続			-	件	-	-	6,195	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
3	若葉土木事務所	29	29-34		2,819.0	-	-	4,300	4		継続利用	当面継続			-	件	-	-	4,343	円/㎡	4		①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする
4	緑土木事務所	29	29-35	△	3,312.0	-	-	6,000	2	△	継続利用	当面継続			-	件	-	-	7,296	円/㎡	2	△	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 3事業所のあり方検討中 現時点では評価据置きとする

グループ名	行政施設（土木事務所）
-------	-------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
運営コスト	ア 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3事業所のあり方検討中であることから、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> <li>※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。</li> </ul>

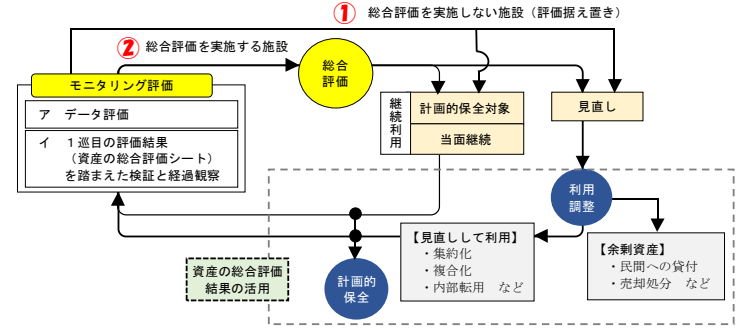
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価																
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R 元年度評価番号	検証結果概要									
				建物性能	利用率	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運営コスト		ルート	評価結果	方向性												
1	消防総合センター	29	29-36		77.0	-	-	6,100	-	-	継続利用	計画的保全			-	人	-	-	8,639	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	救助救急センター	29	29-37		19.0	-	-	2,700	-	-	見直し	その他 (他施設への移転)			-	人	-	-	18,836	円/㎡	-	-	①	○	見直し	その他 (他施設への移転)		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
3	消防職員待機宿舎 (権名寮)	29	29-38	△	69.4	-	-	600	-	-	見直し	その他 (必要性を検討)			-	%	-	-		円/㎡	-	-	①	○	見直し	その他 (必要性を検討)		※相対評価なし 評価結果を踏まえ個別に検討を行う
4	暮らしのプラザ	29	29-39		6,619.0	-	-	24,050	-	-	継続利用	当面継続			7279.7	人	-	-	41,349	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	動物保護指導センター	29	29-40	△	3,886.0	-	-	10,420	-	-	継続利用	当面継続			2870.3	件	-	-	10,149	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
6	千葉サイクル会館														1318.3	人	-	-	2,681	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-15	<個別事情により評価据置き> R 元年度に総合評価実施 計画的保全

グループ名	行政施設 (出先機関等 (その他))
-------	--------------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも機能や用途が異なるため、相対評価は実施しない。</li> <li>参考として、利用率 (職員数、入居率、相談件数等)、運営コスト (面積当たり運営コスト) を記載。 ※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。</li> </ul> <p>【消防総合センター、暮らしのプラザ、動物保護指導センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【千葉サイクル会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

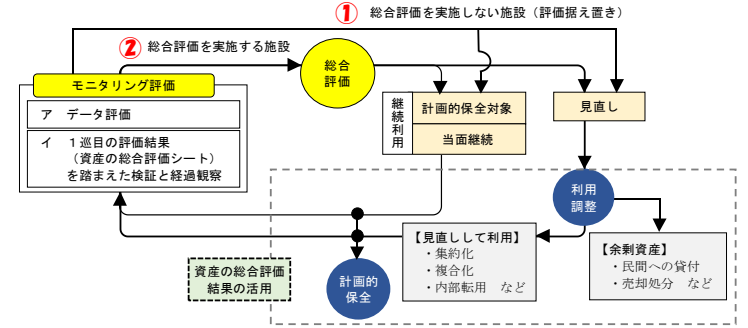
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果	方向性								
		評価	判定	評価	判定																					
1	社会福祉研修センター	29	29-41	3,467.0	-	-	87,500	-	-	継続利用	当面継続		4,352.0	人	-	-	87,765	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	ことぶき大学校	29	29-42	174.0	-	-	67,300	-	-	見直し	その他 (事業の必要性や施設の有効活用方法を検討)		179.0	人	-	-	65,803	円/㎡	-	-	①	○	見直し	その他 (事業の必要性や施設の有効活用方法を検討)		※相対評価なし 評価結果を踏まえ個別に検討を行う
3	成年後見支援センター	29	29-43	762.0	-	-	281,100	-	-	継続利用	計画的保全		790.0	件	-	-	305,571	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	障害者福祉センター	29	29-44	49,624.0	-	-	55,300	-	-	継続利用	計画的保全		47,398.0	人	-	-	48,383	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	障害者相談センター	29	29-45	2,332.0	-	-	107,000	-	-	継続利用	計画的保全		2,682.0	件	-	-	23,779	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
6	大宮学園	29	29-46	13,501.0	-	-	121,500	-	-	継続利用	計画的保全		13,273.7	人	-	-	125,108	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
7	桜木園	29	29-47	23,782.0	-	-	151,700	-	-	継続利用	計画的保全		24,214.7	人	-	-	155,824	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
8	療育センター	29	29-48	△ 87,365.0	-	-	97,500	-	-	継続利用	計画的保全		50,688.3	人	-	-	106,106	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
9	こころの健康センター	29	29-49	4,553.0	-	-	56,200	-	-	継続利用	計画的保全		3,991.7	件	-	-	58,405	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
10	発達障害者支援センター												887.7	人	-	-	242,805	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-16	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全
11	療育センター分館 ふれあいの家												38,073.7	人	-	-	59	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-17	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全
12	ひきこもり地域支援センター												2,476.0	人	-	-	721,378	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-18	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全

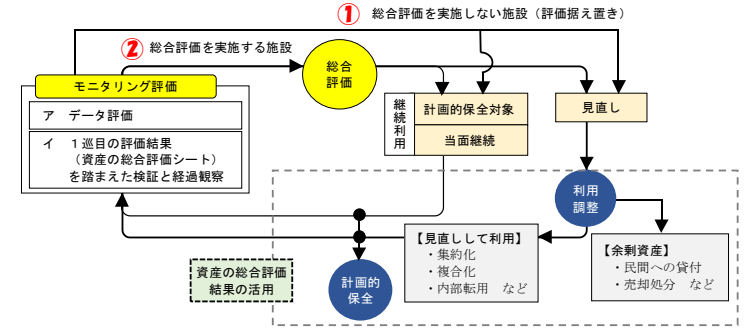
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）								資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果							
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価結果	方向性									
13	生涯現役応援センター																							※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面は現用途のまま継続して使用するもの、利用状況等や今後のあり方に係る検討状況を注視していく必要がある

グループ名	福祉施設（高齢・障害等）
-------	--------------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。</li> <li>参考として、利用度（受講者、入学者、相談件数等）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。</li> <li>※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。</li> </ul> <p>【社会福祉研修センター、成年後見支援センター、障害者福祉センター、障害者相談センター、大宮学園、桜木園、療育センター、こころの健康センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul> <p>【発達障害者支援センター、療育センター分館ふれあいの家、ひきこもり地域支援センター、生涯現役応援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</li> </ul>

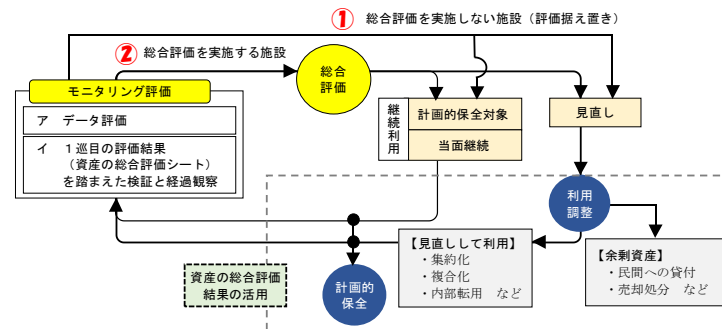
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）												資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価											
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価		データ評価						総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
評価	判定	評価	判定		評価	判定	評価	判定				評価結果	方向性												
1	生活自立・仕事相談センター中央																								<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 計画的保全 H30年度はデータ評価（相対評価）を行わず総合評価を実施 今後、R1年度のデータを基準に状況の変化を確認していく※2
2	生活自立・仕事相談センター稲毛																								<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 ※2
3	生活自立・仕事相談センター若葉																								<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全 ※2

グループ名	福祉系施設（生活自立・仕事相談センター）
-------	----------------------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下
運営コスト	イ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
・H30年度はデータ評価（相対評価）を行わず総合評価を実施 R1年度以降は、データ評価（相対評価）を実施し、状況の変化を確認していく。 【生活自立・仕事相談センター（中央、稲毛、若葉）】 ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。



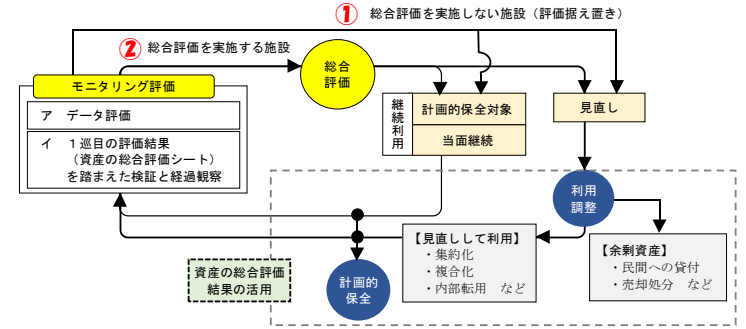
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1 巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1 巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1 巡目）										資産の総合評価（2 巡目）・令和元年度 モニタリング評価															
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要								
				建物性能	利用率	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用率	運営コスト		ルート	評価結果	方向性											
1	青葉病院	29	29-50		71.8	-	-	342,100	-	-	継続利用	計画的保全		73.0	%	-	-	360,713	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <個別事情により評価据置き> 市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする
2	海浜病院	29	29-51	△	68.4	-	-	445,900	-	-	継続利用	当面継続		60.4	%	-	-	513,344	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <個別事情により評価据置き> 市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする
3	休日救急診療所	29	29-52		22,496.0	-	-	136,100	-	-	継続利用	計画的保全		19,675.7	人	-	-	120,915	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	医療系施設
-------	-------

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。</li> <li>参考として、利用率（病床稼働率、受信者数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。</li> </ul> <p>【青葉病院、海浜病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市立2病院のあり方を検討中であることから評価据置きとする。</li> </ul> <p>【休日救急診療所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul>

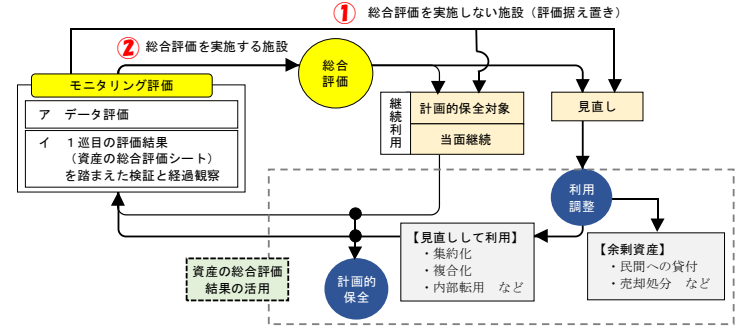
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価																					
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価			総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要															
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート			評価結果	方向性													
評価	判定	評価	判定	評価	判定			評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定		評価結果	方向性															
1	養護学校	29	29-53	189.0	-	-	11,100	-	-	継続利用	計画的保全																						※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの
2	第二養護学校	29	29-54	△	73.0	-	-	15,700	-	-	継続利用	計画的保全																					※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの
3	高等特別支援学校	29	29-55	△	72.0	-	-	8,200	-	-	継続利用	計画的保全																					※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※運営コスト増加は、県費負担教職員の給与負担等の移譲によるもの
4	千葉高等学校	29	29-56		976.0	-	-	43,700	-	-	継続利用	計画的保全																					※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
5	稲毛高等学校	29	29-57	△	958.0	-	-	30,500	-	-	継続利用	計画的保全																					※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	学校（小中学校除く）
-------	------------

留意事項
・各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。 ・参考として、利用度（児童数、生徒数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。 【養護学校、第二養護学校、高等特別支援学校、千葉高等学校、稲毛高等学校】 ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。

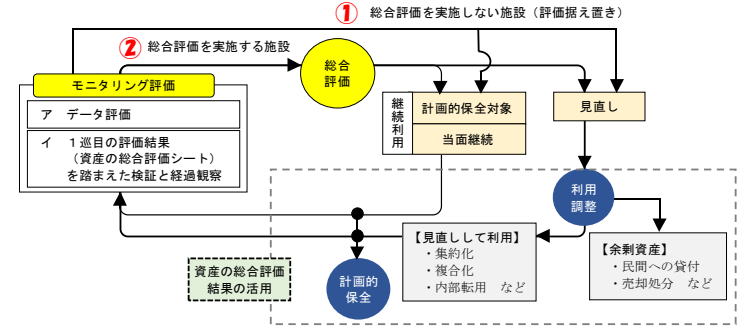
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・ 計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・ 見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・ 当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・ 1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・ 運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)								資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価																	
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価				データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R 元年度評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度	運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度	運営コスト		ルート	評価結果	方向性											
1	こてはし学校給食センター									<個別に取組みあり> 既に再整備が進められている		127千	食	-	-	241,758	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全	30-23	※相対評価なし <個別事情により評価据置き> R 元年度に総合評価実施 計画的保全		
2	看護師養成施設	29	29-58		171.0	-	-	31,700	-	-	継続利用	当面継続		-	人	-	-	32,248	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
3	教育センター	29	29-59	△	4,861.0	-	-	6,600	-	-	継続利用	当面継続		-	件	-	-	6,388	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	当面継続		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
4	養護教育センター	29	29-60		18,718.0	-	-	6,800	-	-	継続利用	計画的保全		-	人	-	-	6,064	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	教育施設 (その他)
-------	------------

留意事項
<p>・ 各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。</p> <p>・ 参考として、利用度 (給食数、生徒数)、運営コスト (面積当たり運営コスト) を記載。 ※資産カルテ作成時のデータに含まれていないものは空欄とする。</p> <p>【こてはし学校給食センター】 ・ 令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【看護師養成施設、教育センター、養護教育センター】 ・ 状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</p>

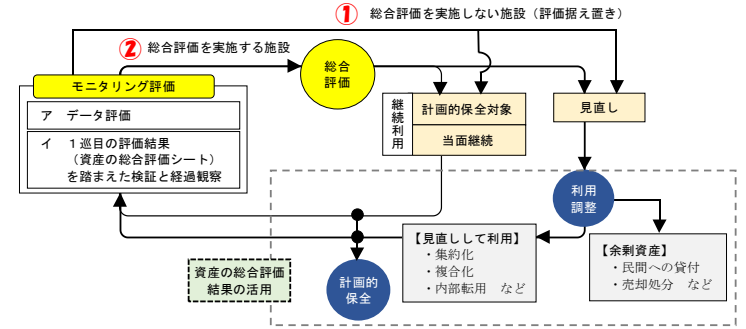
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価						総合評価				データ評価						総合評価 1巡目の評価結果を踏まえた検証					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果		※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	評価	判定	ルート	評価結果			方向性					
1	千葉市斎場	29	29-61	8,296.0	-	-	31,800	-	-	継続利用	計画的保全	8,772.7	件	-	-	31,817	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>
2	桜木霊園	29	29-62	9,058.0	-	-	43,700	-	-	継続利用	計画的保全	9,381.3	区画	-	-	35,007	円/㎡	-	-	①	○	継続利用	計画的保全		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き>

グループ名	その他
-------	-----

留意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも機能や用途が異なっているため、相対評価は実施しない。</li> <li>参考として、利用度（火葬件数、墓地区画数）、運営コスト（面積当たり運営コスト）を記載。</li> </ul> <p>【千葉市斎場、桜木霊園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</li> </ul>

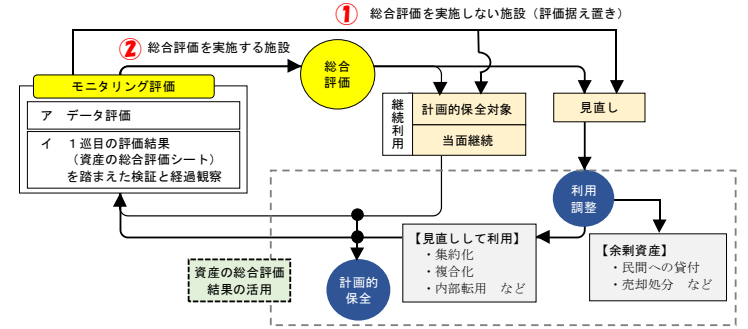
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	ルート②
★	評価替検討 【総合評価 実施】	
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価												
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要					
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性				
1	千葉公園スポーツ施設	26	26-1			△	766			見直し	類似機能の統合					650	円/人	3	①	○	見直し	類似機能の統合		評価結果を踏まえ個別に検討を行う
2	千葉ポートアリーナ	26	26-3				1,419	△	継続利用	計画的保全					953	円/人	2	△	①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価 1 巡目と状況に変化なく、経過観察としない
3	蘇我スポーツ公園	26	26-4			△	633		継続利用	計画的保全				△	401	円/人	5		①	○	継続利用	計画的保全		<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価 1 巡目と状況に変化なく、経過観察としない
4	青葉の森スポーツプラザ	26	26-5			△	475		継続利用	当面継続				△	400	円/人	5		①	○	継続利用	当面継続	1-18	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 データ評価では、陸上競技場の利用度に課題ありとなったものの、利用者は増加傾向であり、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく
5	宮崎スポーツ広場	26					380		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし				△	488	円/人	4		①	□	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		経過観察 利用度課題あり (2期連続)
6	花島公園スポーツ施設	26					754		継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし					710	円/人	3		①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
7	こてはし温水プール	26	26-6			△	771		継続利用	計画的保全					714	円/人	3		①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)

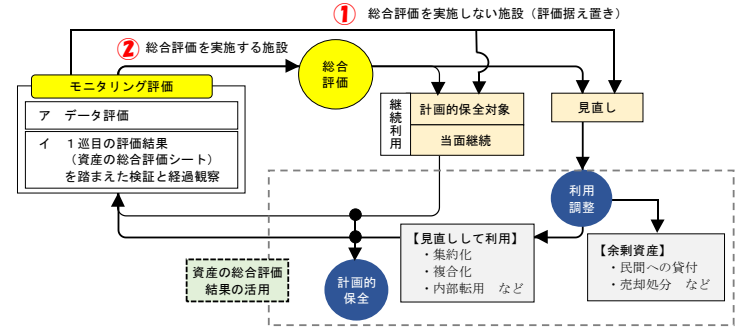
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1 巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察 (3年間の経過観察)	
経過観察対象	・計画的保全 (1 巡目) であるが、データ評価で課題あり ・見直し (1 巡目) であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数 (建物) 5 年以下 ・1 巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価 (1 巡目)										資産の総合評価 (2 巡目) ・ 令和元年度 モニタリング評価													
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価 1 巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要						
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果									
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	ルート	評価結果	方向性									
8	猿橋公園	26						402			継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし					236	円/人	5	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		(データ評価で課題なし)
9	宮野木スポーツセンター	26						827			継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし					419	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		R元年度のデータ評価にて、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる
10	みつわ台第2公園 スポーツ施設	26	26-7				△	822			継続利用	計画的保全					429	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全		(データ評価で課題なし)
11	北谷津温水プール	26	26-8				△	694			継続利用	当面継続			△	630	円/人	4	①	○	継続利用	当面継続	1-19	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況や運営コスト、北谷津清掃工場の再整備計画の検討状況等を注視していく必要がある	
12	中田スポーツセンター	26	26-9				△	788			継続利用	当面継続			△	543	円/人	4	①	○	継続利用	当面継続		<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等から直ちに統合可能な施設がなく、当面は利用を継続し、利用状況を注視していく	
13	大宮スポーツ広場	26	26-10				△	173			継続利用	当面継続			△	276	円/人	5	①	○	継続利用	当面継続	1-20	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 本施設や周辺施設の利用状況などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく	

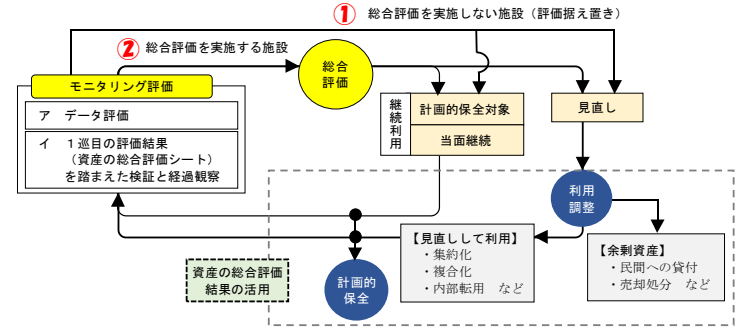
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価										
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要			
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性		
14	市民ゴルフ場	26	26-11	-	-	△	-	-	-	継続利用	当面継続	-	-	-	-	-	-	①	○	継続利用	当面継続	※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数 H30年度 32,504人 (H26年度対比+6,136人)
15	古市場公園スポーツ施設	26	26-12			△	868			継続利用	当面継続							①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 周辺施設の利用状況、代替施設の有無 などを踏まえると、直ちに再配置する ことは難しいことから、当面継続とし、 今後の利用状況等を注視していく
16	有吉公園スポーツ施設	26					720			継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし							①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし	(データ評価で課題なし)
17	昭和の森スポーツ施設	26	26-13			△	-	-	△	継続利用	当面継続							①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 周辺施設の状況等を踏まえると、直ちに 再配置することは難しいこと等から、 当面継続とし、今後の利用状況等 を注視していく
18	幸町公園	26	26-14				1,039		△	継続利用	当面継続							①	○	継続利用	当面継続	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 当面継続とし、今後、H29年に供用 開始した高洲市民プールの利用状況を 含めて、本施設の利用状況を注視して いく必要がある

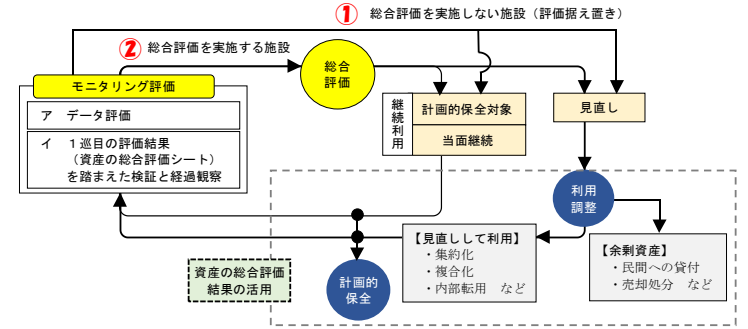
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		検証結果										
					評価	判定	評価	判定				評価	判定	ルート	評価結果	方向性										
19	高洲スポーツセンター																				30-2	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 計画的保全対象として、必要な保全を行い長寿命化を図るもの、近隣施設の幸町公園水泳プールの利用状況を注視する必要がある				
20	磯辺スポーツセンター																				-	(データ評価で課題なし)				
21	稲毛海浜公園スポーツ施設	26	26-15			△		1,241	△	継続利用	当面継続					△	741	円/人	3	①	○	継続利用	当面継続	1-24	<個別事情により評価据置き> R元年度に総合評価実施 本施設の再配置の検討にあたっては、「海辺のランドデザイン」を踏まえた今後の取組み状況や利用状況等を注視していく必要がある	
22	袖ヶ浦第4緑地	26	26-16			△		230		継続利用	計画的保全						481	円/人	4	①	○	継続利用	計画的保全		※建物性能のみ 課題あり <状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なし	
23	千葉アイススケート場	26				-		-		-	-	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし				-	-	-	-	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし		※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数（平均） 1巡目 170,711人 直近3年度 216,162人



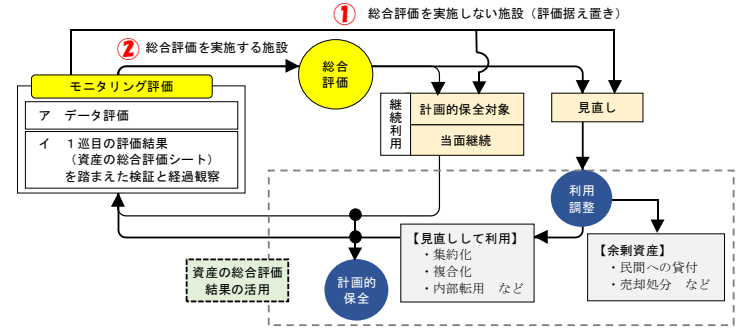
令和元年度 モニタリング評価結果案一覧

【データ評価結果 凡例】

(空欄)	課題なし
△	課題あり
-	類似施設ない等のため相対評価なし

【モニタリング評価検証結果 凡例】

○	総合評価結果 変更なし ※1巡目からデータ評価結果に変更がない 等	ルート①
□	経過観察（3年間の経過観察）	
経過観察対象	・計画的保全（1巡目）であるが、データ評価で課題あり ・見直し（1巡目）であるが、データ評価で課題なし	
★	評価替検討 【総合評価 実施】	ルート②
評価替検討対象	・当面継続のうち残耐用年数（建物）5年以下 ・1巡目に引き続きデータ評価で課題あり ※評価据置きとした場合は対象外 ・運営形態に変化がある	



※R元年度に総合評価を実施したものは評価番号を記載している

No	施設名称	資産の総合評価（1巡目）										資産の総合評価（2巡目）・令和元年度 モニタリング評価														
		実施年度	評価番号	データ評価				総合評価		データ評価				総合評価1巡目の評価結果を踏まえた検証				※【参考】R元年度評価番号	検証結果概要							
				建物性能	利用度		運営コスト		評価結果	方向性	建物性能	利用度		運営コスト		ルート	評価結果			方向性						
評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定									
24	千葉マリスタジアム (ZOZOマリスタジアム)	26		-	-	-	-	-	-	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			-	-	-	-	-	-	①	○	継続利用	計画的保全 ※データ評価課題なし			※相対評価なし <状況に変化なく評価据置き> ※利用者数 H30年度 2,254千人 (H26年度対比+576千人)

グループ名	スポーツ施設
-------	--------

データ評価	
評価指標	ベンチマーク
利用度	ア 稼働率又は面積当たり利用者数（3カ年平均値）が5段階評価で2以下 イ 稼働率（3カ年平均値）が40%未満
運営コスト	ウ 面積当たり運営コスト（3カ年平均値）が5段階評価で2以下

留意事項
<p>&lt;利用度&gt; ※利用度は次頁「令和元年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果案一覧」参照            ・スポーツ施設の利用度は、施設の機能（種目）ごとに8グループに分類し、相対評価を行った。            なお、稼働率データがないプール・温水プールは面積当たり延べ利用者数を記載。            &lt;スポーツ施設 グループ&gt; ①野球場、②庭球場、③球技場・多目的運動場・グラウンドゴルフ、④プール、⑤温水プール、⑥体育館、⑦武道場（柔道場、剣道場、弓道場、相撲場）、⑧その他</p> <p>&lt;運営コスト&gt; ・運営コストは施設単位で実施した。            機能（種目）ごとに使用する面積が異なり、「面積当たり運営コスト」では、適切な比較が難しいため、「利用者当たり運営コスト」を用いて相対評価した。</p> <p>&lt;その他&gt; ・指定管理料が無料で市の歳出によらず運営できている次の3施設は、相対評価を行わなかった。            ①千葉アイススケート場、②千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）、③千葉市民ゴルフ場            ・昭和の森スポーツ施設は、駐車場、売店等の公園施設と一体で管理許可されており、スポーツ施設のみの運営コストが算出できないことから、相対評価を行わなかった。</p> <p>【青葉の森スポーツプラザ、北谷津温水プール、大宮スポーツ広場、古市場公園スポーツ施設、昭和の森スポーツ施設、幸町公園、高洲スポーツセンター、稲毛海浜公園スポーツ施設】            ・令和元年度に総合評価実施。総合評価結果を踏まえ、評価据置きとする。</p> <p>【千葉ポートアリーナ、蘇我スポーツ公園、市民ゴルフ場、袖ヶ浦第4緑地、千葉アイススケート場、千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）】            ・状況変化がないものと判断し、H30年度と同様、評価据置きとする。</p> <p>【中田スポーツセンター】            ・データ評価で課題があるものの、施設の立地条件や設置背景等から直ちに統合可能な施設がないことから、評価据置きとする。</p> <p>【宮崎スポーツ広場】            ・資産の総合評価2巡目のデータ評価で「課題あり」となったものの、評価結果見直しの必要性を判断するために、3年間の経過観察を実施する。※経過観察2期目</p> <p>【宮野木スポーツセンター】            ・前年度「経過観察」となったものの、今回のデータ評価において課題が解消されたことから経過観察をとりやめる。</p>

令和元年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧

番号	施設名称	資産の総合評価(1巡目)評価結果					資産の総合評価(2巡目)・モニタリング評価(H令和元年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧)															
		データ評価			総合評価		データ評価								データ評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
		建物性能	利用率	運営コスト	評価結果	方向性	利用度(機能別)								ルート	検証結果	検証結果概要					
							① 野球場	② 庭球場	③ 球技場・多目的運動場・陸上競技場等		④ プール	⑤ 温水プール	⑥ 体育館・屋内運動場	⑦ 武道場				⑧ その他				
判定	判定	判定			評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価						
1	千葉公園スポーツ施設	△	△		利用見直し	類似機能の統合	4						3		4				①	○	利用見直し	評価結果を踏まえ個別に検討を行う
2	千葉ポートアリーナ			△	継続利用	継続(計画的保全対象)									3				①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
3	蘇我スポーツ公園		△		継続利用	継続(計画的保全対象)													①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なく、経過観察としない
	フクダ電子アリーナ(蘇我球技場)									2												
	フクダ電子ヒルスコート										3											
	フクダ電子スクエア											3										
	フクダ電子フィールド[第一多目的グラウンド]											4										
	フクダ電子フィールド[第二多目的グラウンド]											2										
4	青葉の森スポーツプラザ		△		継続利用	当面継続	4	4		2						3			①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 データ評価では、陸上競技場の利用度に課題ありとなったものの、利用者は増加傾向であり、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく
5	宮崎スポーツ広場				継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)		2											①	□	継続利用(計画的保全対象)	経過観察 利用度課題あり(2期連続)
6	花鳥公園スポーツ施設				継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)		4	3						4	4			①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
7	こてはし温水プール		△		継続利用	計画的保全対象							4						①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
8	横橋公園				継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	3												①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
9	宮野木スポーツセンター				継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	3	3							3				①	○	継続利用(計画的保全対象)	R1年度のデータ評価にて、課題が解消されたことから、経過観察をとりやめる
10	みつわ台第2公園スポーツ施設	△			継続利用	継続(計画的保全対象)	3	4					3		4				①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
11	北谷津温水プール	△			継続利用	当面継続							2						①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 当面継続とし、今後の利用状況や運営コスト、北谷津清掃工場の再整備計画の検討状況等を注視していく必要がある
12	中田スポーツセンター		△		継続利用	当面継続	2	4	5	4	2								①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> 施設の立地条件、設置背景等から直ちに統合可能な施設がなく、当面は利用を継続し、利用状況を注視していく
13	大宮スポーツ広場		△		継続利用	当面継続		2											①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 本施設や周辺施設の利用状況などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく
14	市民ゴルフ場		-		継続利用	当面継続												-	①	○	継続利用(当面継続)	<状況に変化なく評価据置き> ※利用者数：H30年度 32,504人 (H26年度対比+6,136人)
15	古市場公園スポーツ施設	△	△		継続利用	当面継続	2	2					2		3		2		①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 周辺施設の利用状況、代替施設の有無などを踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく
16	有吉公園スポーツ施設				継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	3	4					5						①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
17	昭和の森スポーツ施設	△	△	△	継続利用	当面継続	2	1											①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 周辺施設の状況等を踏まえると、直ちに再配置することは難しいこと等から、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく
18	幸町公園	△		△	継続利用	当面継続							2						①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 当面継続とし、今後、H29年に供用開始した高洲市民プールの利用状況を含めて、本施設の利用状況を注視していく必要がある

令和元年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧

番号	施設名称	資産の総合評価(1巡目)評価結果					資産の総合評価(2巡目)・モニタリング評価(H令和元年度 スポーツ施設 モニタリング評価結果一覧)															
		データ評価			総合評価		データ評価								データ評価1巡目の評価結果を踏まえた検証							
		建物性能	利用率	運営コスト	評価結果	方向性	利用度(機能別)								ルート	検証結果	検証結果 概要					
							① 野球場	② 庭球場	③ 球技場・多目的運動場・陸上競技場等			④ プール	⑤ 温水プール	⑥ 体育館・屋内運動場				⑦ 武道場		⑧ その他		
判定	判定	判定			評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価						
19	高洲スポーツセンター	/	/	/	/							3			3				①	○	継続利用(計画的保全対象)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 計画的保全対象として、必要な保全を行い長寿命化を図るものの、近隣施設の幸町公園水泳プールの利用状況を注視する必要がある
20	磯辺スポーツセンター	/	/	/	/				3						3				①	○	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	(データ評価で課題なし)
21	稲毛海浜公園スポーツ施設	△	△	△	継続利用	当面継続	2	2	4				3		1			-	①	○	継続利用(当面継続)	<個別事情により評価据置き> R1年度に総合評価実施 本施設の再配置の検討にあたっては、「海辺のグランドデザイン」を踏まえた今後の取組み状況や利用状況等を注視していく必要がある
22	袖ヶ浦第4緑地	△			継続利用	継続(計画的保全対象)		4											①	○	継続利用(計画的保全対象)	※建物性能のみ 課題あり <状況に変化なく評価据置き> ※資産の総合評価1巡目と状況に変化なし
23	千葉アイススケート場	-	-	-	継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)													①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※利用者数(平均) 1巡目 170,711人 直近3年度 216,162人
24	千葉マリンスタジアム(ZOZOマリンスタジアム)			-	継続利用	計画的保全対象 (データ評価課題なし)	5												①	○	継続利用(計画的保全対象)	<状況に変化なく評価据置き> ※利用者数: H30年度 2,254千人 (H26年度対比+576千人)